

平成29年度

# 運動年鑑



小笠中学校体育連盟

# 目 次

はじめに.....	小笠中体連会長 落合浩美.....	2
平成29年度を振り返って.....	理事長 細川英晴.....	3
小笠中学校体育連盟規約.....		4
小笠中学校体育連盟表彰規定.....		6
小笠中学校体育連盟申し合わせ事項.....		8
平成29年度 小笠中学校体育連盟 役員一覧表.....		9
平成29度年 小笠中学校体育連盟 部活動顧問一覧表.....		10
平成29年度 小笠中学校体育連盟 競技別大会予定表.....		11
小笠中学校陸上競技大会記録.....		12
小笠中学校水泳競技大会記録.....		13
平成29年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 結果.....		14
平成29年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 得点表.....		15
平成29年度 小笠中学校総合体育大会 グッドマナー賞.....		16
平成29年度 生徒奨励賞・顧問功労賞一覧.....		17
平成29年度 小笠中学校新人総合体育大会 結果.....		19
バレーボール（男女）.....		20
卓 球（男女）.....		26
柔 道.....		29
陸上競技.....		30
バスケットボール（男女）.....		34
サッカー.....		38
ソフトボール.....		40
軟式野球.....		43
ソフトテニス（男女）.....		46
剣 道.....		52
水 泳.....		55
小笠中学校体育連盟 歴代役員一覧表.....		59
小笠中学校総合体育大会 年度別優勝校一覧表.....		60

表紙絵・裏表紙絵 (菊川市立岳洋中学校 3年 松下 桃子)

## はじめに

本年度の小笠中学校体育連盟の諸事業も3市教育委員会並びに関係機関等のご理解とご協力、またご指導いただきました関係各位、諸先生方のご尽力により無事終了することができ多くの生徒の輝く姿を見ることができました。心より感謝とお礼を申し上げます。

「感動ある大会にしよう」のスローガンのもと、「挑戦・友愛・自立」の姿を掲げて「感動」を巻き起こしてくれた選手の記録をこの年鑑にまとめることができました。中学生期の大切な多くの時間を費やしてきた結果として、一人ひとりの人生の記録の1ページとして、また各チームや学校の足跡としてご活用していただきたいと思います。

さて、本年度の小笠中学校総合体育大会の総合杯は、男子は掛川市立西中学校。野球が優勝、陸上競技・ソフトテニスが準優勝、卓球が3位、女子は菊川市立菊川西中学校。バレー・ボーラー・陸上競技が優勝、卓球が準優勝、ソフトボールが3位と男子・女子とも2位とは総合得点4点の大差をつけ力を見せつけました。また、団体男子では掛川市立北中学校のバレーが県大会2位、御前崎市立浜岡中学校のバレーが県大会3位、学校組合立御前崎中学校の剣道が県大会3位、女子では常葉大学附属菊川中学校のバドミントンが県大会優勝、掛川市立原野谷中学校のソフトボールが県大会2位、学校組合立御前崎中学校の剣道が県大会3位と東海大会に出場しました。個人では菊川市立菊川西中学校の浅井隆さんが4種競技・110mハードル、丹羽花香さん2年100m、松下里帆さん100mハードル、掛川市立桜が丘中学校の山本記子さん2年100mで全国大会に出場をし活躍しました。その他でも多くの団体・個人が県・東海で小笠地区の学校や中学生に大きな自信を与えてくれました。

ここ数年、選手への身体的・精神的負担や、指導者の指導の在り方等について全国的に話題となり見直す活動が進められてきました。中体連の目指すものは競技力と人間力の向上であり、培った力は卒業後社会人としての活躍に大きく影響するものと信じております。本年度は、バレー・ボーラー・陸上競技の県大会、東海大会をエコパアリーナで開催し、競技面で活躍する選手と陰で競技を支える立場で活躍する選手と、多面的にスポーツに関わる生徒の姿を見ることができ、生涯スポーツの推進に繋がる素晴らしい活動であったと感激いたしました。今一度、指導をしてくださった関係の先生方に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

平成30年1月15日

小笠中学校体育連盟  
会長 落合 浩美

## 平成29年度を振り返って

平成29年度の小笠中学校体育連盟は、会長3年目となられる落合浩美校長先生のもと、競技力向上事業や大会運営などに取り組み、成果を残すことができました。これも、各校長先生をはじめ、小笠全体の先生方の温かい支えのおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

6月24日の水泳大会を皮切りに、7月26日の陸上競技大会まで、全競技において熱い小笠中学校総合体育大会が繰り広げられました。最後の一秒、一球まで諦めず頑張る姿は、見る者を感動させ、生徒の成長を伺うことができる大会でした。男子の部では、軟式野球の部優勝、陸上競技の部・ソフトテニスの部準優勝、卓球の部3位の成果を上げた掛川市立西中学校が4年ぶり9回目の総合杯に輝きました。女子の部では、バレーボールの部・陸上競技の部優勝、卓球の部準優勝、ソフトテニスの部3位の菊川市立菊川西中学校が6年ぶり2回目の総合杯を獲得しました。また、陸上競技の部では、菊川市立菊川西中学校、剣道の部では、学校組合立御前崎中学校が男女同時優勝を果たしました。上位大会では、掛川市立北中学校と御前崎市立浜岡中学校の男子バレーボール部、掛川市立原野谷中学校のソフトボール部、学校組合立御前崎中学校の男女剣道部の団体、常葉大学附属菊川中学校の女子バドミントン部が県大会を勝ち抜き、東海大会へ駒を進め健闘しました。個人では、剣道、陸上競技、水泳、バドミントンの選手が東海大会そして全国大会へ出場し、高い能力を発揮し大活躍しました。中でも菊川市立菊川西中学校の浅井君は、4種競技において、西部大会を新記録で1位、県大会1位、全国大会12位と優秀な成績を修めました。団体、個人共に日ごろの練習の成果が発揮された総合体育大会であったと嬉しく思います。グッドマナー賞では、8校11チームが受賞しました。マナー面に関しては、小笠地区だけでなく、静岡県の生徒のマナー取り組む姿勢が年々向上してきています。これは勝つことだけを目的にしているのではなく、部活動を通しての人間育成に日々取り組まれているご指導の賜だと思います。また、バレーボールと卓球の県大会と東海大会がエコパアリーナで開催されました。大会を成功させるために、神谷バレー部長と加茂卓球部長を中心に、各競技部が団結して取り組み、大会を滞りなく開催していただきました。小笠の先生方の結束力を強く感じました。ありがとうございました。

今年度の大会は天候に恵まれ、全ての競技が予定通りに開催されました。そのため熱中症対策がとても重要となりました。各競技部長と各校の顧問、そして救護担当と連携し、熱中症対策がとられ、生命に危険が及ぶ事態はありませんでした。いつも不測の事態を想定し対策をしていても何が起きるか分かりません。これからも生徒の生命と安全を第一に考え、大会が運営されるように事務局としても対策を考えていきます。また、新しい試みとして、試作段階ではありました、ホームページを立ち上げました。大会要項、結果、写真などの情報をいつでも手軽に閲覧でき、生徒たちの頑張りを多くの方に知っていただきたいと思ったからです。まだまだ改善しなければならない点はありますが、一般公開に向けて準備を進めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、掛川市、菊川市、御前崎市等の公共施設を優先的に使用させていただき、整った環境の中で大会を盛大に開催できたことを深く感謝申し上げます。

平成30年1月15日

小笠中学校体育連盟  
理事長 細川 英晴

# 小笠中学校体育連盟規約

## 第1章 総 則

- (名称)  
第1条 本連盟は、小笠中学校体育連盟という。
- (事務局)  
第2条 本連盟は、原則として事務局を会長の指定する学校におく。
- (目的)  
第3条 本連盟は、小笠中学校体育の健全な発展を図ることを目的とする。
- (事業)  
第4条 本連盟は、前条の目的を達成するために下記の事業を行なう。  
(1) 各種大会の開催、および講習会、研修会の開催  
(2) 資料の収集、調査研究  
(3) その他本連盟の目的達成に必要な事業

## 第2章 組 織

- (組織)  
第5条 本連盟は、掛川市・菊川市・御前崎市・御前崎市牧之原市の各中学校及び常葉大学附属菊川中学校が加盟してこれを組織する。

## 第3章 役 員

- (役員の種別及び選任)  
第6条 本連盟は、次の役員をおく。  
1 会長 1名  
(1) 副会長若干名  
(2) 理事長 1名  
(3) 副理事長 (庶務) 1名  
(4) 南部主任  
(5) 北部主任  
(6) 理事  
(7) 編集委員若干名  
(8) 研修委員若干名  
(9) 会計監査 2名  
(10) 会計監査 2名  
(11) 会計監査 2名  
(12) 運動年鑑編集委員長 1名  
2 正副会長は校長、教頭会の推薦による。  
3 理事長、副理事長、会計、運動年鑑編集委員長は理事会で選任し、会長が委嘱する。  
4 南部主任は、南部の理事の推薦による。  
5 原則として理事は、掛川市、菊川市、御前崎市、御前崎市牧之原市の各中学校と常葉大学附属菊川中学校の体育担当教員の代表1名とする。  
6 編集委員は、理事長、副理事長、会計、運動年鑑編集委員長、南北主任等で構成し、会長が委嘱する。  
7 研修委員は理事会で選出し、会長が委嘱する。  
8 会計監査 2名は、校長より1名、教員より1名とし、理事会で選出する。  
9 顧問をおくことができる。顧問は理事会の推薦による。  
(役員の任務)  
第7条 役員の任務は次のとおりとする。  
(1) 会長は、本連盟を代表し、会務一切を統領する。  
(2) 副会長は会長を補佐して会務を掌理し、会長に事故あるときは、その代理を務める。  
(3) 理事長、副理事長は会長の指示を受けて、会務一切の立案と処理にあたる。  
(4) 理事は理事会を構成し、組織し、事業その他重要な事項について審議する。  
(5) 会計は、本連盟の会計の事務を行う。  
(6) 会計監査は、隨時本連盟の会計を監査する。  
(7) 運動年鑑編集委員長は運動年鑑編集において立案と処理にあたる。  
(8) 顧問は、会長の諮問に応じて、重要事項に関し建議する。

- (役員の任期)  
第8条 役員の任期は1ヶ年とする。但し再任を妨げない。補欠役員の任期は前任者の残留期間とする。

## 第4章 会議

(会議の種別) 第9条 本連盟の会議は、理事会とする。

(会議の構成) 第10条 理事会は、本連盟の役員をもって構成する。

(会議の招集) 第11条 理事会は、会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた時には臨時に開くことができる。

(会議に付議する事項) 第12条 理事会は次の事項を付議する。  
(1) 組織決定  
(2) 事業審議決定  
(3) 予算議決、決算の承認  
(4) 規約改正  
(5) その他重要な事項の審議決定

第5章 競技部

第6章 会計

(経費) 第14条 本連盟の会計は、負担金及びその他をもってある。  
(事業年度) 第15条 本連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第7章 規約の変更

(規約の変更)  
第16条 本連盟の規約は、理事会の承認を経なくては変更することはできない。

第8章 雜則

第17条 本連盟規約の施行に必要な細則は別に定める。

附則  
1 本規約は、昭和50年4月1日から施行する。 9 本規約は、平成29年4月1日一部修正  
2 本規約は、昭和56年4月1日一部修正。  
3 本規約は、平成5年4月1日一部修正。  
4 本規約は、平成11年4月1日一部修正。  
5 本規約は、平成14年4月10日一部追加。  
6 本規約は、平成15年4月10日一部追加。  
7 本規約は、平成19年4月9日から施行する。  
8 本規約は、平成24年4月1日から施行する。

細則

認めること。する。認めること。する。認めること。する。

# 小笠中学校体育連盟表彰規定

## 1 総合体育大会の表彰

野球・ソフト・バスケット・バレー・テニス・サッカー・卓球・剣道・柔道について

### (1) 団体表彰

- ア 1位チームに優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 準優勝チームに楯、カップ、トロフィーのいずれかを与える。(柔道は除く)
- ウ 1位から3位まで、チーム賞状(合同チームには学校数分)と個人賞状を与える。  
(1位にはメダルも与える)個人賞状の数は、部ごとに次のように定める。

野球25人・ソフト25人・バスケット15人・バレー18人  
ソフトテニス8人・サッカー30人・卓球10人・剣道7人・柔道7人

エ 県大会出場のために順位決定戦を行っても、両チームとも3位とする。

オ 出場総参加チームが5チーム以上の場合、上記の規定通りとする。

4チームの場合は、2位までを該当とする。

3チームの場合は、1位だけを該当とする。

これは、新人戦も同様とする。

カ 大会前に団体としてエントリーすれば、総合杯得点に加点する。

### (2) 個人戦表彰

- ア 1位から6位まで賞状を与える。(1位にはメダルも与える。一人が複数種目において優勝した場合は1個限りとする。事情により1個800円で購入は可)
- イ 県大会出場順位の3位決定戦を行っても、両者とも3位とする。
- ウ 県大会への出場権を得ても、勝利していない場合や試合をしていない場合は、1位から3位までの賞状は与えない。そのかわりに激励賞を与える。
- エ 県大会出場権を得た者で、3位以内に入れなかった者には激励賞を与える。

陸上・水泳について

### (1) 団体(総合)表彰

- ア 男女総合1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 男子総合と女子総合の1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- ウ 男女総合、男子総合、女子総合のそれぞれ1位から3位校に、賞状を与える。

### (2) 個人表彰

- ア 1位から6位には、個人賞状を与える。リレーは4人に与える。(ただし、出場人数が10名以下の場合は3位までとする。3名以下の場合は1位のみとする)
- イ 優勝者には、メダルを与える。(リレーは4人に与える。1位にはメダルも与える。一人が複数種目において優勝した場合は1個限りとする。)
- ウ 新記録を出した場合は、記録賞を与える。

## 2 新人総合体育大会の表彰

南部、北部別の大会をもつて小笠地区の新人戦とする。(ただし、陸上、剣道、水泳については南北合同開催とする。)南部、北部でどちらかが、2チームになってしまった場合においては南北合同で開催する。3チーム以下の団体表彰は1位のみ行う。

野球・ソフト・バスケット・バレー・テニス・サッカー・卓球について

### (1) 団体表彰

- ア 南部、北部各1位チームに優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 1位から3位まで、チーム賞状(合同チームには学校数分)を与える。(但し3位について未勝利のチームには賞状を与えない)個人賞状は優勝チームだけに与え、人数は総体の人数に準じる。

### (2) 個人戦表彰

1位から3位まで賞状を与える。

陸上・水泳について

### (1) 団体(総合)表彰

- ア 男子総合と女子総合の1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 男子総合、女子総合の1位から3位までに賞状を与える。
- ウ 水泳はリレー種目に出席すれば団体とする。

### (2) 個人表彰

- ア 1位から3位には、個人賞状を与える。リレーは4人に与える。(ただし、出場人数が3名以下の場合は1位のみとする。)
- イ 新記録を出した場合は、記録賞を与える。

### 3 顧問功労賞等の表彰

#### (1) 顧問功労賞

- ア 総体で団体（総合）優勝した場合
  - ・大会表彰時に授与する。合同チームは監督に与えることを基本とする。
- イ 県大会で8位以内に入った場合
- ウ 東海、全国大会に出場した場合
  - ・該当の大会は総体とし、新人戦は含まない。上位大会についても、中体連の大会（通信陸上を含む）を原則とする。
  - ・各種競技団体が開催する大会は、全国大会に出場した場合、理事会で検討する。

#### (2) 部長功労賞

- ア 3年以上競技部長を務めた部長を表彰する。表彰はその任を退いた時とする。
- イ 顧問者会の際に表彰する。
- ウ 県、西部部長の場合には特別表彰もある。

#### (3) 県大会以上の優勝顧問功労賞

- ア 県大会以上の優勝顧問に対して表彰する。
- イ 顧問者会の際に表彰する。

### 4 小笠中学校総合杯の表彰

- (1) 男子の部、女子の部を設け、小笠中学校総合体育大会において上位の3校を表彰する。1位に賞状と優勝杯を、2位と3位に賞状を授与する。
- (2) 部活動として日常的に活動している学校が2校以下の競技と、合同チームは得点の対象としない。
- (3) 入賞得点
  - 各競技ごとに、1位に5点、2位に3点、3位に2点（3位が2校の時には各1点）を与える。ただし、出場校が小笠地区の半数以下の競技については、1位は3点、2位は2点とする。
- (4) 入賞競技は団体競技のみとする。
- (5) 入賞得点が同点の場合は次の通りとする。（合同チームの結果は除く）
  - ア 優勝した競技数の多い学校を上位とする。
  - イ さらに同点の場合には、2位の競技数の多い順とし、それでも決しない場合は3位の競技数の多い順の学校とする。
  - ウ さらに同点の場合には、県大会への出場数の多い学校を上位とする。
  - エ それでも決しない場合には、男女別の運動部加入人数の少ない学校を上位とする。
- (6) 表彰は陸上大会の際に行う。
- (7) 優勝杯は持ち回りとし、前年度優勝校にはレプリカを贈呈する。

### 5 特別賞(グッドマナー賞)の表彰

中体連の精神である「スポーツを通して健全な中学生の育成」というねらいから、小笠中学校総合体育大会の取り組みに対し、中学生らしい態度で臨んだ団体（戦績は関係しない）、グループ、あるいは個人を賞揚する。（善行賞とは異なる）

- (1) 各競技部（男女別）から推薦された個人または1グループ、1団体とし、要項に明記する。
- (2) 選考基準は、中体連の申し合わせ事項を考慮し、各競技の特性を十分生かす内容とする。
- (3) 総合杯とは別とする。
- (4) 9月の理事部長会で承認し、該当校に賞状を渡す。その年によって、個人あるいはグループ、団体となってもかまわない。
- (5) 各競技男女別に特別賞選考委員会（部長、副部長、強化対策委員等）を設置し、選考する（必ず各競技部顧問の承認の上、該当校理事にも連絡を取る）。
- (6) 合同チームも対象とし、賞状は学校数分与える。
- (7) 該当者がない場合もありうる。

#### 【補足】

- (1) 各校の日頃の様子を加味し、まず該当校顧問が受賞するにふさわしいか判断する。顧問が受賞するにふさわしくないと思われる場合、競技部内の推薦からはずす。
- (2) 各校の理事が校内の日頃の努力や他の部活との比較から、辞退する場合もあり得る。
- (3) 9月の理事部長会で各部から推薦された部が、グッドマナー賞の趣旨、目的にふさわしいか検討し、決定する。

※本表彰規定は、昭和63年 4月15日より施行する。

平成6年 4月18日	一部修正	平成19年 3月2日	総合杯得点競技となる基準改定
平成8年 4月11日	総合杯規定作成	平成23年 4月11日	総合杯入賞種目の基準改定
平成10年 4月10日	新人戦規定改正	平成24年 4月9日	陸上・水泳における個人表彰規定の改定
平成11年 4月9日	新人戦規定改正	平成25年 4月8日	団体表彰規定改正
平成12年 6月5日	個人表彰規定改正	平成27年 4月9日	一部修正
平成14年 6月10日	一部修正	平成28年 4月12日	一部修正
平成15年 11月4日	総合杯順位決定の追加	平成28年 5月30日	一部修正
平成16年 6月7日	総合杯決定手順追加・新人戦規定改定		
平成17年 4月8日	生徒奨励賞・顧問功労賞基準改正		
平成17年 6月6日	総合杯・グッドマナー賞における合同チームの規定、賞状の数の追加		

## 静岡県中学校体育連盟スローガン

### — 感動ある大会にしよう —

1. 「挑戦」 自らが持てる力を出し尽くし、最後まであきらめることなくプレーしよう。
2. 「友愛」 友情の輪を広げ、互いの健闘を認め合う温かさを持とう。
3. 「自立」 ルールやマナーを守り、さわやかさの残る大会にしよう。

## 小笠中学校体育連盟申し合せ事項（生徒用）

- 1 「基本」 静岡県中学校体育連盟のスローガンをよく理解し、実践します。
- 2 「心得」 常に中学生としての自覚を持ち、スポーツマンらしい行動をします。
- 3 「競技場」 競技場や控室は、すべて心身を鍛えるところであるという自覚をもち、スポーツマンシップを發揮し、自己の向上につとめ、使用後の片づけも確実に行います。  
体育館へのアイスボックスやおしごり等の持ちこみには十分注意し、床（フロア）を大切にします。
- 4 「服装など」 シャツのすそをズボンやパンツの中に入れ、乱れた服装でプレーしたり応援したりしないよう、常に正しい服装をします。靴下についても競技にふさわしいものにします。また、学校への持ち込みが禁止されている不要物は持っていません。  
競技を見学する時は、保護者とともに見学します。服装は、自校の制服か体操服（自校の部活動で許可されている服装）で見学します。
- 5 「飲食物」 練習試合を含めて競技会に出場する時は、弁当と水筒を持参し、ゴミは必ず持ち帰ります。菓子やジュース類は絶対に持ていません。また、会場や移動途中で、菓子やジュース類の買い喰いはしません。  
自己の健康管理に心掛け、常にベストコンディションで競技することがスポーツマンには大切であることを実践します。
- 6 「競技規定」 競技会でのベンチに入る人数等は、大会規定をしっかりと守ります。

**平成29年度 小笠中学校体育連盟 役員一覧表**

役職名	氏名	勤務校	役職名	氏名	勤務校
顧問			理事	三浦 浩二	原野谷
会長	落合 浩美	桜が丘	"	細川 英晴	桜が丘
副会長	松林 義樹	御前崎	"	齊藤 竹世	掛川北
"	相田 慎	大浜	"	佐々木寛明	掛川西
理事長	細川 英晴	桜が丘	"	青島 直道	掛川東
副理事長	青島 直道	掛川東	"	吉田 順平	栄川
会計(本部)	岡本 健志	城東	"	岡本 健志	城東
会計(事業費)	伊藤 拓史	菊川東	"	鈴木 瑛志	大浜
運動年鑑編集委員長	青嶋 翔太	岳洋	"	横山 佳和	大須賀
南部主任	鈴木 瑛志	大浜	"	佐藤 尚広	常葉菊川
北部主任	吉田 順平	栄川	"	松浦 芳志	菊川西
新体力テスト委員長	吉田 順平	栄川	"	伊藤 拓史	菊川東
ホームページ	青嶋 翔太	岳洋	"	青嶋 翔太	岳洋
会計監査	石山 哲也	岳洋	"	原田 剛	浜岡
"	熊膳 佳美	掛川西	"	春田 基行	御前崎

競技名	部長氏名	勤務校	副部長氏名	勤務校
バレー	神谷 昭吾	大須賀	中山 航	掛川北
卓球	加茂 将昭	掛川東	斎藤 梢 池ヶ谷将彦 岡田 圭介	掛川西 大浜 菊川西
柔道	原田 剛	浜岡		
陸上	小林 大晃	岳洋	鈴木 達	菊川東
バスケット	大杉 鏡康	大浜	山岡 文彦 増田 陽一 井浪 貴斗	浜岡 掛川北 掛川東
サッカー	初鹿野 亮	掛川西	糸田 翼 中山 慶介	掛川北 浜岡
ソフト	青嶋 翔太	岳洋	天野 誠 大石 北斗	御前崎 掛川西
野球	平野 公一	御前崎	杉山 優 伊藤 拓史 吉田 順平 飯田 好洋	浜岡 菊川東 栄川 掛川北
ソフトテニス	中山 竜彰	掛川西	大倉佑太郎 川中 瑞貴 山本 高裕 田辺 恵理	掛川西 大須賀 大浜 桜が丘
剣道	山下 翔市	菊川西	大石 英明	浜岡
水泳	伊藤 卓哉	掛川東	熊膳 佳美	掛川西

# 平成29年度 小笠中学校体育連盟 部活動顧問一覧表

種目/校名	原野 谷	桜 が 丘	掛 川 北	掛 川 西	掛 川 東	榮 川	城 東	城 西	川 崩	大 須 賀	大 滉	常葉彌川	菊 川 西	菊 川 東	岳	浜 洋	岳 洋	浜 濱	岡 間	御 前 嶺
校長	深澤 大	■ 落合 浩美	村松 敏男	畠田 和弘	佐藤 義晃	中山 真	中山 優彦	平川 真	堀内 祥行	白坂 弘	弘	土屋 義人	森田 昌浩	山田 正彦	石山 哲也	漂島 正治	□ 松林 義樹			
教頭	柴田 勝明	豊田 乾規	柳瀬 昭夫	赤堀 智生	石山 近	梅葉 伸介	武藤 七海	山崎多恵子	岩堀ひろ子	鈴木 雅子	板倉 康弘	樋村 英明	加藤 伸司	板倉 亨	岡本 裕之	岡田 智行	鈴木 秀和	樺山 智之		
養護教諭	石淵 春菜	遠藤 まどか	宮城 友子	佐々木寛明	△ 青島 直道	内藤 一真	山崎多恵子	岩堀ひろ子	鈴木 雅子	板倉 康弘	▲ 岩本 錠志	横山 まゆみ	松下 和美	海野千恵子	山崎 永子	村松 照子	伊藤 郷子	竹内 知晴		
理事	三浦 浩二	◆ 細川 英晴	齊藤 竹世	加藤 啓太	桑原 薫	吉田 順平	N 吉田 順平	吉田 順平	吉田 順平	吉田 順平	吉田 順平	吉田 順平	吉田 順平	佐藤 尚広	松浦 芳志	▼ 伊藤 伸史	△ 青嶋 翔太	原田 剛	春田 基行	
男バレーボール										○ 伊藤 優	● 伊藤 優	○ 佐藤 雅	佐藤 雅							
女バレーボール	林 亜美	田中あおい	鈴木 幸子	中山 航	池田 友梨	柳瀬 昭夫	吉田 紗季	松井 伸吾	田中 伸吾	岡本 錠志	● 岩本 錠志	鈴木 錠志	鈴木 錠志	鈴木 錠志	鈴木 錠志	鈴木 錠志	鈴木 錠志	鈴木 錠志	鈴木 錠志	
男卓球	山本 若奈	祐	下島	萩山 漢心	内山 優輝	寺田 雄哉	吉田 尚弘	細井 道浩	村松 一秀	澤田 真成	(岩附 真帆)	寺田 貴昭								
女卓球	吉田 黙香	下島	吉田 順子	芦原 光	美穂	横山	吉田 紗季	松井 伸吾	田林 伸吾	熊切 正	(岩附 真帆)	池谷 真弘								
柔道		(杉浦二三夫)					(澤瀬 奈)			(相田 優)	(橋村 英明)	(相田 優)	(橋村 英明)	(春田 基行)						
陸上		(増田 裕子)	櫻井 刚	原口 駿巳	小野 芳彦	黒田アヤ希子	沢田 佳史	山村 勇希	村田 恵子	田林 星子	(田林 星子)	(田林 星子)	石野 栄子	米村 尚子	河合 友翠	鈴木 遼	○ 小林 大昇	長合川裕子	● 伊藤 由治	
駅	山下 健	齊藤 春昇	佐藤 順	湯野 順	早馬 陽一	高橋 昌樹	高橋 伸	高橋 伸	高橋 伸	鈴木 錦	中野 夏芽									
男バスケットボール	男バスケ	山内 孝義	佐藤 雅啓	戸田 大誠	佐々木寛明	● 佐々木寛明	寺田 智子	寺田 智子	寺田 智子	栗山 友希	● 伊藤 実明									
女バスケットボール		山村 大誠	由井原 佑	由井原 佑	松浦久美子	○ 初鹿野 亮	森田 真	谷村 研五	研五 崇	谷村 高橋	高橋 桃代									
サッカー	池田 直虎	鶴田 真	萩田 真	木村 友樹	細川 英晴	●	大石 北斗	青島 直道	早馬 伸	十屋 秀喜	中村 陽介									
ソフト	三浦 浩二	●	湯川 珠沙		大石 北斗	青島 直道	内海 俊明	高塚 俊行	吉田 伸	田中 宏昌	石橋 克洋	田中 宏昌	天野 誠							
野球	安田 敦子	金田 晋	鈴木 優輔	飯田 好洋	安間 勉	鈴木 勉	吉田 昌弘	吉田 昌弘	吉田 昌弘	吉田 伸	八木 秀樹									
男テニス	安田 敦子	辻元 智	安間 勉	鈴木 勉	吉田 俊一	吉田 伸	○ 平野 公一													
女テニス	梅田 見	田辺 恵理	田中 敏夫	田崎 優	古城 錠海	秀和	曾根 隆央	曾根 隆央	曾根 隆央	山本 高裕	樺山 智之									
剣道	城下 俊介	田中 敏夫	田崎 優	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	吉田 伸	丹所明日香	
水泳	(鈴木 幸子)	(後藤志津子)	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	鈴木 幸子	
新体操	バトミントン																			
弓道		(片桐 京々)																		
文化部等	池谷 恵	原野 谷	桜 が 丘	掛 川 北	掛 川 西	掛 川 東	榮 川	城 東	城 西	川 崩	大 須 賀	大 滉	常葉彌川	菊 川 西	菊 川 東	岳 洋	浜 洋	岡 間	御 前 嶺	
スピーディカード																				
合計	13	26	32	36	32	12	24	23	16	18	31	25	26	43	24					
※中体連顧問	原野 谷	桜 が 丘	掛 川 北	掛 川 西	掛 川 東	榮 川	城 東	城 西	川 崩	大 須 賀	大 滉	常葉彌川	菊 川 西	菊 川 東	岳 洋	浜 洋	岡 間	御 前 嶺	381	
※中体連顧問	会長	副会長	◆ 理事長	◆ 理事長	◆ 理事長	△ 会計事務員														

## 平成29年度 中学校体育連盟 競技別大会予定表

種目	小笠大会			西部大会			東海大会			県大会			全国大会九州ブロック		
	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日	会場	期日
バレーボール	7 / 6 土 9 日 15 土	静岡西中 南中 横川西中	7 / 8 土 9 日 15 土	横川北中 横川中 横川北中	7 / 6 水 8 日 15 土	エコバアリーナ(メイン・サブ) エコバアリーナ(メイン)	7 / 6 水 8 日 29 土	エコバアリーナ(メイン・サブ) エコバアリーナ(メイン)	8 / 7 月 8 日	エコバアリーナ(メイン・サブ)	8 / 22 火 23 水 25 金	高崎東部市民総合体育館、高崎市総合公園体育館	9 / 24 日 30 土	大須賀中 (予)大須賀中	大須賀中 (予)大須賀中
卓球	7 / 6 土 9 日	さんりーな さんりーな					7 / 31 月 8 / 1 火 2 水	エコバアリーナ(メイン) エコバアリーナ(メイン)	6 / 9 水 10 水	エコバアリーナ(メイン) エコバアリーナ(メイン)	8 / 22 火 23 水 24 水 25 金	大分県別府市総合体育館べっぷぶアリーナ	9 / 23 土	さんりーな	さんりーな
柔道	7 / 8 土 15 土	浜岡中 (予)浜岡中					7 / 27 木 28 金	静岡県武道館 静岡県武道館	8 / 8 水 9 水	静岡県武道館	8 / 22 火 23 水 24 水 25 金	福岡県福岡国際センター			実施しない
陸上	7 / 26 水 27 木	(予)エコバスタジアム	6 / 10 土	四ツ池公園陸上競技場	7 / 22 土 23 日	エコバスタジアム エコバスタジアム	8 / 10 水	エコバスタジアム	8 / 19 土	静本義徳企画運動公園陸上競技場 大分お嬢フェスティアム	10 / 1 日	エコバスタジアム			
駅伝	7 / 1 土 2 日	大浜中・大浜中南宮 (予)大浜中・(予)大浜中南宮	10 / 21 土	土 11 日	四ツ池公園陸上競技場	11 / 11 土 12 日	エコバスタジアム (予)未定	8 / 9 水 10 水	静岡市北部体育館 静岡市北部体育館	12 / 16 土	越賀県希望が丘文化公園 ポートーソーン共生ランド				
バスケ	7 / 1 土 2 日 8 土 9 日 15 土	原野谷中 (予)原野谷中 原野谷中 (予)原野谷中 原野谷中	7 / 20 日 21 日	土 11 日	四ツ池公園陸上競技場	7 / 25 火 26 水 27 木 28 金	静岡市北部体育館 静岡市北部体育館 静岡市北部体育館 静岡市北部体育館	8 / 9 水 10 水 10 水 10 水	静岡市北部体育館 静岡市北部体育館	8 / 22 火 23 水 24 水 25 金	伊豆高原市役所地区体育館、伊豆高原山岳館、伊豆市本館	9 / 23 土	掛川東中 (予)掛川東中	御前崎中 (予)御前崎中 (予)御前崎中	御前崎中 (予)御前崎中 (予)御前崎中
サッカー	7 / 1 土 2 日 8 土 9 日 16 日	菊川運動公園 (予)菊川運動公園 (予)ゆうやババーク (予)ゆうやババーク	7 / 25 火 26 水 27 木 28 金 29 土	土 11 日	菊川運動公園	8 / 7 月 8 火 9 水	エコバスタジアム、補助競技場 エコバスタジアム、補助競技場 エコバスタジアム、補助競技場 エコバスタジアム、補助競技場 (予)多目的広場、(予)複数競技場	8 / 16 金 19 土 20 日 21 日 22 火	熊本県大津町運動公園競技場・球技場 熊陽杉形木水公園スポーツ広場 山鹿市カルチャースポーツセンター多目的グラウンド	8 / 17 木 18 水 19 土 20 日 21 日	福岡県日置市東市来総合運動公園	9 / 23 土	原野谷中 (予)原野谷中	岳洋中 岳洋中 岳洋中 岳洋中 岳洋中	岳洋中 岳洋中 岳洋中 岳洋中 岳洋中
ソフト	7 / 1 土 2 日 8 土 9 日 15 土 16 日	岳洋中 (予)岳洋中 岳洋中 (予)岳洋中 岳洋中 (予)岳洋中	7 / 26 水 27 木 28 金 29 土 30 日	土 11 日	花川北中養生運動公園	8 / 8 月 9 水 10 水	和地山公園 和地山公園	8 / 17 木 18 水 19 土 20 日	長崎市総合運動公園かきどまり駐車場	9 / 23 土	原野谷中 (予)原野谷中	大東北中場、五郎寺中 浜田保育園 大東北中場、(予)浜田保育園	大東北中場、五郎寺中 浜田保育園 大東北中場、(予)浜田保育園	大東北中場、五郎寺中 浜田保育園 大東北中場、(予)浜田保育園	
野球	7 / 1 土 2 日 8 土 9 日 15 土 16 日	大東北・城東中 (予)大東北・城東中 大東北・城東中 (予)大東北・(予)浜岡 予)大東北 (予)大東北	7 / 26 水 27 木 28 金 29 土 30 日	土 11 日	花川北中養生運動公園	8 / 7 月 8 火 9 水 (予)花川北中養生運動公園	高難度式野球場、県営軟式野球場、(予)県営軟式野球場 高難度式野球場、(予)浜岡 (予)浜岡 (予)浜岡 (予)浜岡	8 / 18 金 19 土 20 日	KIRISHIMAサンマリンスタジアム宮崎 生目の佐運動公園アイビースタジアム 久峰総合運動公園野球場	9 / 23 土	大東北中場、五郎寺中 大東北中場、(予)大東北中場	大東北中場、五郎寺中 大東北中場、(予)大東北中場	大東北中場、五郎寺中 大東北中場、(予)大東北中場	大東北中場、五郎寺中 大東北中場、(予)大東北中場	
ソフトテニス	7 / 1 土 2 日 8 土 9 日 15 土 16 日	大東北・城東中 (予)大東北・城東中 大東北・城東中 (予)大東北 予)大東北 (予)大東北	7 / 27 木 28 金 29 土 30 日	土 11 日	花川北中養生運動公園	8 / 7 月 8 火 9 水 (予)花川北中養生運動公園	高難度式野球場、(予)浜岡 (予)浜岡 (予)浜岡 (予)浜岡	8 / 18 金 19 土 20 日	長崎市総合運動公園かきどまり駐車場	9 / 23 土	花川北中 花川北中 花川北中 花川北中 花川北中	菊川西中 菊川西中 菊川西中 菊川西中 菊川西中	菊川西中 菊川西中 菊川西中 菊川西中 菊川西中		
剣道	7 / 9 日 16 日	(予)御前崎中 (予)御前崎中	7 / 29 土	静岡県武道館	8 / 1 火	保立富士水泳場	8 / 8 火 9 水 30 日	浜松市総合水泳場	8 / 18 金 19 土 20 日	佐賀県総合体育館	9 / 23 土	浜岡中 (予)浜岡中	大東北中場、五郎寺中 大東北中場、(予)大東北中場	大東北中場、五郎寺中 大東北中場、(予)大東北中場	
水泳	6 / 24 土 25 日	掛川西中 (予)掛川西中	7 / 8 土 9 日	浜松市総合水泳場	7 / 25 火	保立富士水泳場	8 / 8 火 7 月	浜松市総合水泳場	8 / 17 不 18 金 19 土	福岡県北九州市総合体育館	9 / 2 土	掛川西中 3 日	大東北中場、五郎寺中 大東北中場、(予)大東北中場	大東北中場、五郎寺中 大東北中場、(予)大東北中場	
体操							7 / 29 土 30 日	琴姫体育館	8 / 6 日	琴姫体育館	8 / 19 土	福岡県北九州市総合体育館			
新体操							7 / 30 日	琴姫体育館	8 / 8 火	琴姫体育館	8 / 22 火 23 水 24 水 25 金	佐賀県総合体育館			おおむら
パドミントン							7 / 26 水 27 木 28 金	富士宮市民体育館 富士宮市民体育館 富士宮市民体育館	8 / 9 水 10 水	富士宮市民体育館 富士宮市民体育館 富士宮市民体育館	8 / 22 火 23 水 24 水	長崎県大村市総合体育館			

# 小笠中学校陸上競技大会記録

(平成29年度 第71回大会まで)

種 目		氏 名	校 名	記 錄	大会
男	100メートル	縣 利至 馬場 貴士	岳 洋 掛川北	11"08	46 56
	200メートル	村松 匡哲	掛川西	22"82	54
	400メートル	横山 直広	掛川西	52"22	62
	800メートル	杉村 直柔	掛川北	2'01"75	66
	1500メートル	眞田 翼	桜が丘	4'19"29	67
	3000メートル	進士 和樹	菊川東	9'20"53	48
	110メートルH	神田 就太	掛川西	14"91	64
	低400メートルR	浜岡 中		48"08	55
	共400メートルR	浜岡 中		45"09	64
	高800メートルR	掛川北中		1'35"90	54
子	走 幅 跳	村上 豪 原 巧	岳 洋 御前崎	6.65m 6.65m	66 70
	走 高 跳	高塚 佳成	掛川北	1.86m	42
	棒 高 跳	松浦 勝久	掛川北	4.10m	46
	三 段 跳	岡本 和也	菊川西	12.50m	24
	砲 丸 投 げ	袴田 康信 塩見 隆夫	掛川北 岳 洋	14.23m 12.26m	41 64
女	100メートル	岡田 一子	掛川東	12"06	33
	200メートル	渡邊 瑛里	掛川西	26"26	66
	800メートル	中島 葵	菊川西	2'17"97	64
	1500メートル	中島 葵	菊川西	4'43"27	64
	100メートルH	松下 里帆	菊川西	14"93	71
	低400メートルR	菊川西中		52"29	70
	共400メートルR	菊川西中A		50"64	71
	走 幅 跳	有海 朱音	菊川西	5.42m	66
	走 高 跳	岩崎 真弓	城 東	1.65m	37
	砲 丸 投 げ	大橋 恵子	大須賀	12.69m	34

## オープントーナメント種目大会記録 (第35回より)

種 目		氏 名	校 名	記 錄	大会
1 男	100メートル	原 巧	御前崎	12"14	68
2 男	100メートル	赤堀 真	岳 洋	11"40	71
1 男	1500メートル	眞田 翼	桜が丘	4'37"26	65
2 男	1500メートル	眞田 翼	桜が丘	4'24"42	66
1 女	100メートル	赤堀 舞夢	城 東	13"40	56
2 女	100メートル	丹羽 花香	菊川西	12"73	71
1 女	800メートル	中島 葵	菊川西	2'27"49	62
2 女	800メートル	中島 葵	菊川西	2'20"84	63
1 男	走 幅 跳	村上 了太	岳 洋	5.39m	61
2 男	走 幅 跳	村上 了太	岳 洋	6.06m	62
1 女	走 幅 跳	有海 朱音	菊川西	4.90m	65
2 女	走 幅 跳	有海 朱音	菊川西	5.42m	66

**小笠中学校水泳競技大会記録**  
 (平成29年度 第60回大会まで)

種 目		氏 名	校 名	記 錄	大会
男	50m自由形	小林 亮	掛川東	25"93	2016
	100m自由形	松村希良軌	掛川東	54"93	2016
	200m自由形	松村希良軌	掛川東	1'59"63	2016
	400m自由形	田島 冬野	菊川西	4'27"25	2014
	1500m自由形	山下 隼	岳 洋	17'32"92	2009
	100m平泳ぎ	小林 亮	掛川東	1'10"61	2016
	200m平泳ぎ	鈴木 雄太	掛川東	2'34"04	1998
	100m背泳	黒田 雄太	岳 洋	1'06"01	2010
	200m背泳	黒田 雄太	岳 洋	2'21"02	2010
	100mバタフライ	荻田 遼介	大 浜	1'00"75	2006
	200mバタフライ	荻田 遼介	大 浜	2'16"73	2006
	200m個人メドレー	黒田 景太	岳 洋	2'18"74	2010
	400m個人メドレー	黒田 景太	岳 洋	4'52"58	2010
	400mメドレーリレー	掛川東中		4'36"00	2016
	400mリレー	掛川東中		4'09"82	2016
	800mリレー	菊川西中		11'50"50	1991
女	50m自由形	寺下 凜	掛川東	28"95	2017
	100m自由形	金子 春香	桜が丘	1'00"67	2008
	200m自由形	金子 春香	桜が丘	2'12"57	2008
	400m自由形	清水 千尋	浜 岡	4'40"46	1998
	800m自由形	大橋 保南	岳 洋	9'31"90	2005
	100m平泳ぎ	澤崎 琉奈	菊川東	1'18"00	2014
	200m平泳ぎ	澤崎 琉奈	菊川東	2'48"19	2014
	100m背泳	松浦 可苗	栄 川	1'09"49	2013
	200m背泳	松浦 可苗	栄 川	2'25"62	2013
	100mバタフライ	松下 紋華	大須賀	1'08"01	2008
	200mバタフライ	杉山 多英	桜が丘	2'27"75	2014
	200m個人メドレー	下嶋菜々恵	岳 洋	2'27"51	2012
	400m個人メドレー	下嶋菜々恵	岳 洋	5'11"97	2012
	400mメドレーリレー	岳洋中		4'53"40	2009
	400mリレー	浜岡中		4'25"38	1998

※36回大会より、男女の50m自由形が正式種目になった。

# 平成29年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 結果

種 目		男 子			女 子		
		優 勝	準優勝	3 位	優 勝	準優勝	3 位
1	バレー	掛川北	浜 岡	大 浜	菊川西	岳 洋	桜が丘
				掛川西			御前崎
2	卓 球	掛川東	岳 洋	掛川西	掛川西	菊川西	掛川東
				菊川西			大 浜
3	陸 上	菊川西	掛川西	浜 岡	菊川西	掛川東	岳 洋
4	バスケ	大 浜	常葉菊川	菊川東	御前崎	大 浜	桜が丘
				御前崎			浜 岡
5	サッカー	桜が丘	掛川東	菊川東	原野谷	桜が丘	掛川東
				御前崎			菊川西
6	ソ フ ト						掛川東
							菊川西
7	野 球	掛川西	桜が丘	栄 川			掛川北
				浜 岡			浜 岡
8	ソ フ ト テ ニ ス	掛川北	掛川西	大 浜	掛川西	菊川東	掛川北
				菊川西			浜 岡
9	剣 道	御前崎	大須賀	岳 洋	御前崎	浜 岡	岳 洋
				浜 岡			掛川東

## 総合杯 歴代の結果

	男 子						女 子					
	1 位	点	2 位	点	3 位	点	1 位	点	2 位	点	3 位	点
平成8年度	浜 岡	20	掛川北	12	掛川東	12	浜 岡	15	掛川東	11	掛川西	9
平成9年度	浜 岡	16	掛川西	14	大 浜	8	掛川北	17	岳 洋	13	原野谷	8
平成10年度	掛川西	17	大須賀	11	浜 岡	9	掛川東	15	掛川西	13	岳 洋	11
平成12年度	掛川西	15	浜 岡	14	掛川北	9	掛川北	16	浜 岡	15	掛川西	13
平成13年度	掛川西	12	浜 岡	11	掛川北	11	掛川北	18	掛川東	15	掛川西	12
平成14年度	浜 岡	15	掛川西	12	掛川北	10	掛川西	14	掛川東	14	掛川北	12
平成15年度	浜 岡	・	城 東	13	大須賀	10	掛川東	13	掛川北・掛川西・原野谷	9		
平成16年度	桜が丘	11	大須賀	10	掛川西	10	掛川西	15	掛川北	13	大須賀	8
平成17年度	掛川西	18	掛川東	15	浜 岡	8	原野谷	13	常葉菊川	10	掛川西	10
平成18年度	掛川西	22	掛川北	10	菊川西	8	菊川東	10	掛川西	9	大 浜	7
平成19年度	掛川東	18	掛川西	13	御前崎	11	掛川西	17	菊川西	8	掛川北	8
平成20年度	掛川西	15	掛川東	11	掛川北	10	掛川西	18	浜 岡	12	大須賀	8
平成21年度	掛川西	21	浜 岡	11	掛川東	10	掛川西	13	桜が丘	9	浜 岡	8
平成22年度	掛川東	16	菊川西	13	掛川西	11	岳 洋	13	掛川西	11	掛川北	10
平成23年度	菊川西	16	掛川北	14	掛川東	12	菊川西	15	浜 岡	11	御前崎	9
平成24年度	掛川東	15	菊川西	12	掛川西	9	御前崎	9	桜が丘	9	掛川北	9
平成25年度	掛川西	18	掛川東	14	浜 岡	10	浜 岡	11	桜が丘	11	掛川東	9
平成26年度	浜 岡	16	御前崎	11	桜が丘	11	掛川北	11	掛川西	10	御前崎	8
平成27年度	掛川北	12	菊川西	11	掛川西	10	掛川西	15	桜が丘	8	浜 岡	7
平成28年度	掛川東	10	掛川北	9	御前崎	8	掛川西	13	菊川西	10	桜が丘	9
平成29年度	掛川西	12	掛川北	8	桜ヶ丘	8	菊川西	14	掛川西	10	御前崎	9

# 平成29年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 得点表

大会出場数 7 10 13 14 8 14 12 8

県出場枠	3	1	2	1	2	2	1	2	駅伝	得点合計	優勝数	準優勝数	三位数	県出場数	総合順位
男子	バレー	卓球	陸上	バスケ	サッカー	野球	テニス	剣道	水泳						
原野谷										0	0	0	0	0	14
桜が丘					⑤	③				8	1	1	0	2	3
掛川北	③						⑤			8	2	0	0	2	2
掛川西		1	3			⑤	③			12	1	2	1	2	1
掛川東		⑤			3					8	1	1	0	1	4
栄川						1				1	0	0	1	0	13
城東										0	0	0	0	0	15
大浜	○			⑤			1			6	1	0	1	.1	7
大須賀								3		3	0	1	0	0	11
常葉菊川				③						3	0	1	0	1	10
菊川西		1	5				1			7	1	0	2	0	6
菊川東				1	1					2	0	0	2	0	12
岳洋		3						1		4	0	1	1	0	9
浜岡	②		2			1		1		6	0	1	3	1	8
御前崎				1	1			⑤		7	1	0	2	1	5

\* 男子バレー 大浜中県大会出場(点数が入らないため○のみ)

大会出場数 14 11 13 12 9 12 7

県出場枠	1	2	2	*	3	2	2	2	駅伝	得点合計	優勝数	準優勝数	三位数	県出場数	総合順位
女子	バレー	卓球	陸上	バスケ	ソフト	テニス	剣道	水泳	駅伝						
原野谷					⑤					5	1	0	0	1	4
桜が丘	1		1		③					5	0	1	2	1	5
掛川北						1				1	0	0	1	0	11
掛川西	⑤				⑤					10	2	0	0	2	2
掛川東		1	3		①					5	0	1	2	0	6
栄川										0	0	0	0	0	12
城東										0	0	0	0	0	12
大浜		1		③						4	0	1	1	1	9
大須賀										0	0	0	0	0	12
常葉菊川										0	0	0	0	0	12
菊川西	⑤	③	5			1				14	2	1	1	2	1
菊川東						③				3	0	1	0	1	10
岳洋	3		2							5	0	1	1	1	7
浜岡				1		1	②			4	0	1	2	0	8
御前崎	1			⑤				③		9	1	1	1	2	3

# 平成29年度 小笠中学校総合体育大会 グッドマナー賞

種 目	該当校	選 出 理 由
男バレ		・最低限のマナーを守り、どの校も1年間活動してきたが、突出して良い表れが見られたチームがなかったため、今年度のグッドマナー賞は該当なしとする。
女バレ	桜が丘	・一年間の活動を通して、あいさつの声や行動面が他のチームの模範となるものであった。
男 卓	掛川東	・あいさつが気持ちよかったです。 ・団体戦では、全員がチームメイトを応援していた。また、相手のミスやネットインなどに対して、応援の気遣いができているなど、その内容がよかったです。
女 卓	掛川西	・礼儀正しく、あいさつも清々しかった。 ・応援の声が大きくて、まとまっていた。
柔 道		・参加校、参加者、全てマナーも良く、すがすがしい大会となった。浜岡中柔道部と保護者で準備片付けを行ったが、グッドマナー賞には当たらないと思うので該当無しとした。
陸 上		・生徒のマナーが年々良くなっており、学校による差はあまりないため、該当校無しとした。
男バス	原野谷	・あいさつなどがとてもしっかりとできていた。 ・保護者へのマナー、他校・審判へのマナーもよく模範となる態度だった。 ・礼儀正しいあいさつができていた。
女バス	浜 岡	・チームの一体感を感じた。特に一生懸命仲間を応援する姿に感動させられた。 ・上級生、下級生がまとまっている、応援の態度、選手の試合中のマナーなど他校とは比較にならないほどであった。 ・1年を通して元気なあいさつ、応援を行っていた。準決勝でのあきらめない姿勢も素晴らしかった。 ・選手たちが最後まであきらめずに戦っていた。応援も大きな声が響いていた。
サッカー		・年々、生徒の基本的なマナー等向上してきている。どのチームも、しっかりととした態度で1年間通し活動できており、どのチームもグッドマナーである。そのため、このチームと限定ができないため、今年度は該当者なしとした。
ソフト	岳 洋	・礼儀が素晴らしかった。 ・全生徒のあいさつ、行動がとてもよくなった。 ・戦っている姿、準備、あいさつどれもよかったです。 ・あいさつや気遣いがよかったです。 ・最後まで諦めずに一生懸命試合をやる姿がよかったです。
野 球	菊川東 常葉菊川	・どの試合でもはつらつとプレーをしていた。 ・合同チームではあるが、チーム一丸となって戦っていた。 ・大会準備を朝早くから行い、片付けまで一生懸命取り組んでいた。
男テニ		・自校推薦で候補校はあったが、年々マナーが向上しており、甲乙付けがたいため該当無しとした。
女テニ	菊川東	・チーム一体となって応援する姿が見られた。 ・コート整備等、生徒が自発的に動いてくれた。
剣 道	岳 洋	・集団行動を意識し、チームとしてまとまりがある振る舞いが見られた。(試合中の応援、試合前後の移動、試合以外での過ごし方など) ・自分たちの顧問だけでなく、他の顧問に対しても受け答えが礼儀正しくできていた。
水 泳	掛川西	・仲間の応援を、マナー良く一生懸命行っていた。 ・元気にさわやかにあいさつをしていました。(すれ違った際、競技前後、開閉会式) ・800mや1500mといった競技時間が長い種目でも絶えず応援をしていた。

平成29年度 生徒奨励賞・顧問功労賞 一覧 No1  
小笠中学校体育連盟

	生徒奨励賞				顧問功労賞			
	西部予選会3位以内、県大会8位以内 東海大会出場、全国大会出場				小笠総体 優勝顧問	左記以外で生徒奨 励賞受賞者の顧問		
男バレーボール	掛川北 県 2位 東海 出場		掛川北 加藤啓太		掛川北 加藤啓太			
	浜岡 県 3位 東海 出場				浜岡 佐藤 雅			
女バレーボール					菊川西 松下裕伸			
男卓球					掛川東 加茂将昭			
女卓球					掛川西 斎藤 梢			
男柔道	二村瑠伽 (大浜) 50kg級 県 5位							
	河原崎恵伍 (浜岡) 73kg級 県 5位							
	花枝龍星 (浜岡) 90kg級 県 5位				浜岡 原田 剛			
女柔道								
陸上(男)	浅井 隆 (菊川西) 4種競技 西部 1位 2501点 大会新記録							
	県 1位 2479点							
	全国 12位 2607点							
	110mH 西部 1位 14.91							
	県 3位 14.94							
	東海 5位 15.11							
	全国 出場							
	岡本文治 (菊川西) 砲丸投 西部 3位 12m31							
	県 3位 12m42							
	東海 10位 12m21							
陸上(女)	菊川西 団体 県 6位							
	赤堀 真 (岳洋) 2年生100m 西部 2位 11.77							
	県 2位 11.48							
	東海 3位 11.40							
	矢崎裕大 (掛川西) 走高跳 県 3位 1m75							
	東海 出場							
	杉山航平 (栄川) 共通200m 西部 2位 23.31							
	3年100m 県 4位 11.33							
	東海 出場							
	丹羽花香 (菊川西) 2年100m 西部 3位 12.96							
陸上(女)	県 3位 12.52							
	東海 3位 12.52							
	全国 出場							
	松下里帆 (菊川西) 100mH 西部 1位 14.87							
	県 3位 14.66							
	東海 6位 14.66							
	全国 出場							
	浅井昌美 (菊川西) 4種競技 西部 2位 2156点							
	県 5位 2063点							
	菊川西 4×100mR 県 8位 50.39							
	菊川西 団体 西部 2位							
	県 7位							

平成29年度 生徒奨励賞・顧問功労賞 一覧 No 2  
小笠中学校体育連盟

	生徒奨励賞				顧問功労賞	
	西部予選会3位以内、県大会8位以内 東海大会出場、全国大会出場				小笠総体 優勝顧問	左記以外で生徒奨 励賞受賞者の顧問
陸上(女)	山本記子 (桜が丘)  2年100m 西部 5位 13.11 県 7位 12.70  共通200m 西部 5位 26.51 県 2位 25.68  東海 出場  全国 出場					
男バスケ	大浜 県 5位	大浜	大杉鏡康	大浜	大杉鏡康	
女バスケ		御前崎	浦海俊次			
サッカー		桜が丘	池田直茂			
ソフト	原野谷 県 2位 東海 出場	原野谷	三浦浩二	原野谷	三浦浩二	
野球		掛川西	内海俊朗			
男テニス		掛川北	齊藤竹世			
女テニス		掛川西	中山竜彰			
体操						
バドミントン	常葉菊川 学校対抗 県 優勝 東海 出場  下谷祐香 (常葉菊川) シングルス 県 5位  秋山萌衣奈・鈴木あかり (常葉菊川) ダブルス 県 3位 東海 出場			常葉菊川	渡邊友也	
男剣道	御前崎 団体戦 県 3位 東海 出場	御前崎	紅林鉄也	御前崎	紅林鉄也	
女剣道	御前崎 団体戦 県 3位 東海 出場	御前崎	紅林鉄也	御前崎	紅林鉄也	
水泳(男)		掛川西	熊膳佳美			
水泳(女)	寺下 漩 (掛川東) 100m自 東海 12位 1:02.96	掛川西	熊膳佳美	掛川東	杉田凌雅	

# 平成29年度 小笠新人総合体育大会 結果

## 南部大会

種 目		男 子			女 子		
		優 勝	準優勝	3 位	優 勝	準優勝	3 位
1	バレー	浜 岡	菊川西	大 浜	岳 洋	御前崎	大 浜
2	卓 球	岳 洋	菊川西	大須賀	大 浜	菊川西	岳 洋
4	バスケ	大 浜	御前崎	菊川西	御前崎	菊川西	大 浜
5	サッカー	菊川東	御前崎	***	***	***	***
6	ソフト	***	***	***	菊川西	岳 洋	浜 岡
7	野 球	浜 岡	大須賀	岳 洋 菊川西	***	***	***
8	ソフトテニス	菊川西	菊川東	城 東	浜 岡	菊川東	菊川西

## 北部大会

種 目		男 子			女 子		
		優 勝	準優勝	3 位	優 勝	準優勝	3 位
1	バレー	掛川東	掛川西	掛川北	掛川北	掛川東	桜が丘
2	卓 球	桜が丘	掛川東	掛川西	掛川西	掛川東	掛川北
4	バスケ	掛川西	掛川東	桜が丘	桜が丘	常葉菊川	掛川北
5	サッカー	桜が丘	掛川東	***	***	***	***
6	ソフト	***	***	***	掛川東	掛川西	原野谷
7	野 球	掛川東	掛川西	*** ***	***	***	***
8	ソフトテニス	掛川西	掛川北	桜が丘	掛川西	桜が丘	掛川東

## 南北同時開催

種 目		男 子			女 子		
		優 勝	準優勝	3 位	優 勝	準優勝	3 位
1	陸 上	菊川西	掛川東	菊川東	菊川西	掛川東	岳 洋
2	剣 道	大須賀	御前崎	大 浜	浜 岡	大 浜	岳 洋
3	水 泳	掛川西	掛川東	***	掛川西	掛川東	***

# バレーボール

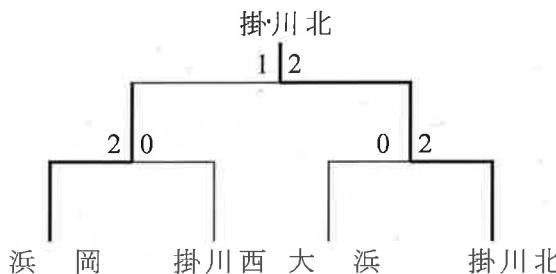
## 総合体育大会（男子）

<予選リーグ>

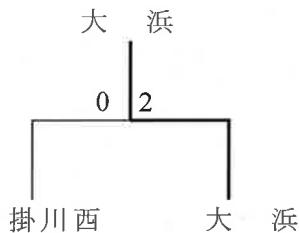
A	浜岡	大浜	大須賀	順位
浜岡		2-1	2-0	1
大浜	1-2		2-0	2
大須賀	0-2	0-2		3

B	掛北	掛西	菊西	掛東	順位
掛北		2-0	2-0	2-0	1
掛西	0-2		2-0	2-0	2
菊西	0-2	0-2		2-0	3
掛東	0-2	0-2	0-2		4

<決勝トーナメント>



<県総体出場決定戦>



大会結果 優勝 掛川北 準優勝 浜岡 3位 大浜、掛川西

大会寸評

掛川市立大須賀中学校 神谷 昭吾

本大会は、3月の東海新人で準優勝を果たした掛川北中と6月の県選手権大会で準優勝を果たした浜岡中の2強を中心として、例年以上にレベルの高い大会となった。優勝した掛川北中は、エース知念を怪我で欠いたが、抜群のレシーブ力とセッター井出の安定したトス回しを軸に、稲村と竹田の鋭いスパイクとサーブを武器に浜岡中の猛追を許さなかった。準優勝の浜岡中は、司令塔赤堀を中心に岡村と大越の2枚エースが角度のあるスパイクを随所で決め、準優勝を勝ち取った。県総体出場決定戦に臨んだ大浜と掛川西中は、大浜中が予選リーグで浜岡中から1セット奪取した勢いそのままに、二村と高橋の両エースの力強いスパイクが随所で決まり、掛川西中の追随を許さず、県総体の出場権を得た。

本大会は、競技力向上事業として年間を通して毎月行ってきた小笠地区練習会の成果が表れた大会であった。今後も地区内で切磋琢磨し、さらなる技術レベルの向上を図りたい。同時に技術面だけではなく、バレーに向かう態度やマナー面でも向上し続ける小笠バレーを目指したい。

優勝作文

掛川市立北中学校 井出 優斗

僕たち北中バレー部が中体連に向けてチームで頑張ったことは、サーブとサーブカットです。相手を崩すことによってチャンスボールからの速い攻撃をすることができました。また、ブロックにも力を入れました。しっかりとしたタイミングと弾かれない強さを今まで練習してきました。この二つが勝利を近づけました。あとは、チームの気持ちです。こんないい仲間とできるのが最後だからという強い気持ちがチームのまとまりを生み、一丸となってバレーをすることができました。

## 総合体育大会（女子）

<予選リーグ>

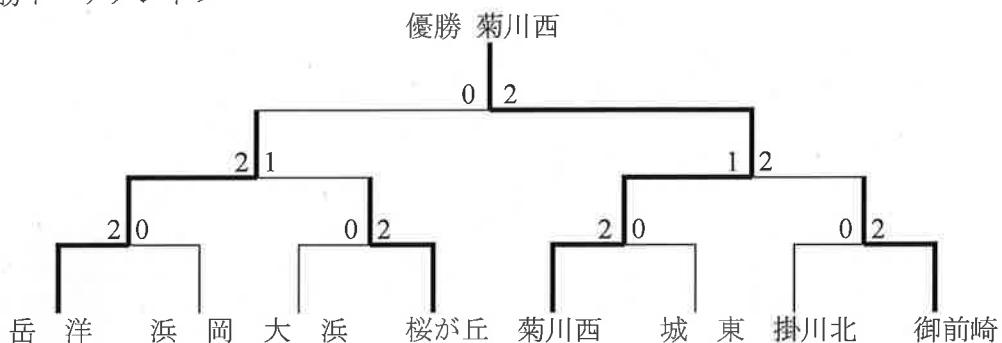
Aリーグ	岳 洋	掛川北	菊川東
岳 洋		2 - 0	2 - 0
掛川北	0 - 2		2 - 0
菊川東	0 - 2	0 - 2	

Cリーグ	菊川西	大 浜	栄 川	原野谷
菊川西		2 - 0	2 - 0	2 - 0
大 浜	0 - 2		2 - 0	2 - 0
栄 川	0 - 2	0 - 2		2 - 0
原野谷	0 - 2	0 - 2	0 - 2	

Bリーグ	御前崎	浜岡	掛川東
御前崎		2 - 0	2 - 0
浜 岡	0 - 2		2 - 0
掛川東	0 - 2	0 - 2	

Dリーグ	桜が丘	城 東	大須賀	掛川西
桜が丘		2 - 0	2 - 0	2 - 0
城 東	0 - 2		2 - 0	2 - 0
大須賀	0 - 2	0 - 2		2 - 1
掛川西	0 - 2	0 - 2	1 - 2	

<決勝トーナメント>



大会結果 優 勝 菊川西 準優勝 岳 洋 3 位 御前崎、桜が丘

大会寸評

掛川市立北中学校 中山 航

本年度の小笠総体では、どのチームが県総体に出場してもおかしくないほどの拮抗した戦いが見られた。大会2日目、決勝トーナメント1回戦から経験豊富なチーム同士の手に汗握る試合が繰り広げられた。特に、県総体の出場権を掛けた準決勝、菊川西中対御前崎中では、3セット目の序盤に菊川西中のエースが足をつるアクシデントがあったが、エースの交替をチーム力でカバーした菊川西中が県総体の切符を手に入れた。準決勝岳洋中対桜が丘中では、互いの3年間をぶつけ合った激しい戦いが見られた。その結果、県総体への切符を手に入れたのは、レシーブ力に優れ、粘り強いバレーで攻守にわたって安定した技術力を有する岳洋中学校であった。決勝戦菊川西中対岳洋中では、小笠の優勝をかけて気持ちと気持ちのぶつかり合う試合が繰り広げられ、熱戦の末菊川西中が優勝を果たした。

両チームには、小笠地区の代表として、ライバルたちの思いを背負い、県総体、そしてその先の大会へと全力で戦ってきてほしい。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 戸塚 碧美

二連覇達成。あの優勝旗をもう一度持つて帰ることができた。昨年の何倍も嬉しかった。「去年優勝した。」「絶対勝てるよ。がんばって。」「今年もあの旗をとってくるんだぞ。」周りからは大きな期待をよせられる。正直、不安で押し潰されそうな時や自信を全く持てない時がたくさんあった。私だけじゃなく、チームのみんなも同じ気持ちになっていた。

そんな中、中体連の2週間前に行われた下田の大会で優勝し、優勝以上に大切なものが得たことがきっかけとなり、不安や自信のなさが覚悟と期待に変わっていった。

中体連当日、チーム全員が気合いと活気であふれていた。「絶対にボールを落とさない」「勝つ」頭の中にはそれしかなかった。勝負の二日目。準決勝も決勝も、コートの中もコートの外も、応援の観客も先生も、全員の想いが一つになっていた。コートに立っていた人だけじゃない。「全員」でとった優勝旗。

あきらめない、絶対やる、強い気持ちと覚悟。そして、団結のすごさを知った。全員の想いが一つになれた中体連。みんな本当にありがとう。

## 新人総合体育大会（北部男子）

リーグ戦

	掛川東	掛川西	掛川北	順位
掛川東		2 - 1	2 - 1	1
掛川西	1 - 2		2 - 1	2
掛川北	1 - 2	1 - 2		3

大会結果 優勝 掛川東 準優勝 掛川西 3位 掛川北

### 大会寸評

掛川市立西中学校 齋藤 一真

北部では、掛川東中が優勝を果たした。掛川東中は、鈴木の安定したレシーブと決定率の高いスパイクで優勝を勝ち取った。また、1年生中心のチームであったが、全員バレーで諦めずに最後まで戦い続けた。準優勝の掛川西中は、試合終盤の劣勢な場面でも必死にボールを追い続けた。3位掛川北中は、安定したサーブで相手を追い詰めた。

大会を通じてサーブの精度の向上とレシーブが課題であった。どの試合でも大事な場面でのサーブミスが目立った。勝利するための近道がサーブであるため、サーブの精度の向上を目指していきたい。また、チャンスボールのミスやレシーブが安定をしていないため、スパイクまでを打ち切ることができなかった。日々の練習の中で、レシーブやパスなどの基礎技術の底上げが必要である。今後も小笠地区のチームで切磋琢磨しながら、昨年度のような高いレベルを目指していきたい。

### 優勝作文

掛川市立東中学校 鈴木 裕斗

3年生の夏の総体が終わり、自分たちの代に替わった。新チームで行った初めてのミーティングで「新人戦優勝」という目標を立て、そのために必要なことを考えた。僕達のチームは初心者の人が多かったため、バレーで一番大切な基本的な技術と体力向上が課題にあがつた。

僕達の選手はアンダーパスが苦手な選手が多く、ボールをまっすぐに返球することができなかつたため、何度も何度も、腕を振らないように練習し続けた。繰り返し練習することで返球の精度があがり、簡単なボールならしっかりとつなぐことができるようになり、少しづつバレーができるようになってきた。

また、サーブが大きな課題のひとつだった。サーブが安定して入るように仲間同士でフォームの確認をし合ったり、コースを指定して競い合ったりして練習に励んだ。

新人戦の3週間前に小笠地区で行った練習試合があった。僕達のデビュー戦であった。どのチームとも、大きな実力差を感じなかつた僕は、「これから一番練習して上手くなつたチームが新人戦では優勝できる。」と感じ、優勝の期待にわくわくした。

新人戦当日は、掛川西中と掛川北中にフルセットで勝利することができ、目標であった「新人戦優勝」を達成することができた。僕は中学に入ってから、優勝が初めてだったのでとても嬉しかつた。しかし、ここで気を抜かず、僕達の活動を支えてくれ方々に感謝をして練習をし、もっと成長できるように努力をしていきたい。

## 新人総合体育大会（北部女子）

## 【予選リーグ】

Aリーグ					
桜が丘	2	-	0	栄	川
掛川西	2	-	0	栄	川
桜が丘	2	-	0	掛川西	

B リーグ				
掛川東	2	-	0	原野谷
掛川北	2	-	0	原野谷
掛川東	2	-	0	掛川北

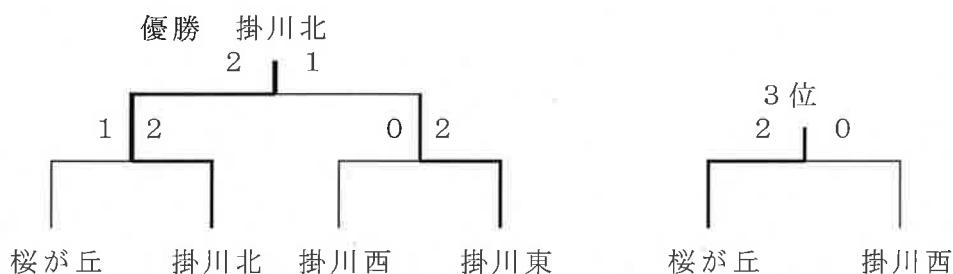
A ブロック順位

1位 桜が丘 2位 掛川西 3位 栄 川

## B ブロック順位

1位 掛川東 2位 掛川北 3位 原野谷

## 【決勝トーナメント】



大会結果 優勝掛川北 準優勝掛川東 3位桜丘が

大会寸評

掛川市立北中学校 中山 航

北部女子では、拮抗した試合が数多く見られた。準決勝の桜が丘中対掛川北中では、掛川北中が攻撃的なサーブとスパイクを軸に、フルセットの末に桜が丘中に勝利した。決勝戦の掛川北中対掛川東中では、掛川東中が高い攻撃力を生かして試合の主導権を握ったが、粘り強く守備を行った掛川北中が、フルセットの末に逆転し、優勝に輝いた。

北部女子は大会順位に関わらず、今後の成長が期待できるチームが多く見られた。今後、南部のチームとともに、それぞれのチームがお互いを高め合い、バレーボールのレベルを上げ、県大会やそれより上の大会で活躍することを期待する。

優勝作文

掛川市立北中学校 岩下 葉生

今回の新人戦では、チームと過ごす中で大きく成長することができました。今までの私たちは、まとまりがなく、練習試合でも思うよな成果が出ていませんでした。不安を残したまま新人戦を迎える事になりました。

当日、予選を1勝1敗で突破し、何とか決勝まで進む事ができました。しかし、相手は予選で負けた掛川東中でした。絶対に負けられないと強い気持ちで挑みました。試合が始まると一気に流れに乗ることができました。いつもは拾えないボールも必死で繋いだり、今まで見たことない力強いガツツポーズが見たりすることができ、とても感動する試合内容でした。みんなの気持ちが一つになったから優勝という結果で終わることができたと思います。

また、今回の新人戦では課題も見つかりました。これから、その課題を改善し、最高のチームを創り上げていきたいです。

## 新人総合体育大会（南部男子）

### リーグ戦

	浜 岡	菊川西	大 浜	大須賀	順位
浜 岡		2 - 0	2 - 1	2 - 0	1
菊川西	0 - 2		2 - 1	2 - 0	2
大 浜	1 - 2	1 - 2		2 - 0	3
大須賀	0 - 2	0 - 2	0 - 2		4

大会結果 優勝 浜岡 準優勝 菊川西 3位 大浜

大会寸評

掛川市立大須賀中学校 神谷 昭吾

南部では浜岡中が優勝を果たした。浜岡中は、サーブ力、攻撃力が他チームの中で最も高かった。早いサーブで相手を崩し、チャンスボールからレフト攻撃によって得点を積み重ねるシンプルな攻撃スタイルを貫き、勝利を重ねた。準優勝に輝いた菊川西中は、センターの A クイックとライトアタックを組み合わせ、コンパクトなコンビ攻撃を軸に準優勝に輝いた。どのチームも優勝を目指して戦ったが、攻撃面、守備面ともにまだまだ発展途上である。小笠全体でパス、レシーブ、サーブ等の基礎技術を底上げし、バレーボールのレベルを上げることが、今後の小笠男子バレー界の課題である。各チームが互いを磨き合う場を設け、更なる努力を続けていく必要があると感じられた。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 横林 来騎

僕たち浜岡中男子バレー部は、先輩たちが成し遂げた「東海大会出場」という姿を追い、新体制になってからも一生懸命、練習に取り組んできました。僕たちのチームは経験者が少なくバレーの技術レベルはとても低いです。それでも「基礎基本こそ丁寧に全力で」を合い言葉に、練習時間の多くを基本練習にさしてきました。その結果、小笠大会ではチームで優勝を勝ち取ることができましたが、まだまだチームとしては未熟なところばかりです。だからこそ日々の練習で、もっと自分に厳しく、勝ちにこだわることのできるチームへと成長していきたいです。そして、周りの人から応援してもらえるチームを目指して、努力していきたいです。

## 新人総合体育大会（南部女子）

1回戦 岳 洋 2 - 0 城 東

大 浜 2 - 0 菊川東

御前崎 2 - 0 菊川西

浜 岡 2 - 0 大須賀

敗者戦 菊川東 1 - 0 城 東

菊川西 1 - 0 大須賀

準決勝 岳 洋 2 - 0 大 浜

御前崎 2 - 0 浜 岡

3位決定戦 大 浜 1 - 0 浜 岡

決勝戦 岳 洋 2 - 1 御前崎

大会結果 優 勝 岳 洋 準決勝 御前崎 3 位 大 浜

### 大会寸評

学校組合立御前崎中学校 酒井 史貴

元気なあいさつが体育館中に聞こえ、真剣な眼差しで試合に臨むチームばかりだった。試合はどのチームもまだまだ荒削りだったが、懸命にボールへ食らいつき、1本のサーブに気持ちを入れて狙って打つ様子も見られた。ラリーが長く続くことが多く、どのチームも粘り強く守っていたように思う。しかし、レセプションで乱れ、セッターにきれいにボールが返せずに2段スパイクやフェイトでしか返せないなど、決定打に欠け、なかなかスパイクで決める点がなかったように感じた。レシーブの精度を上げて、セッターから上がったトスを、コースを考えて打ったり、攻めのパターンを増やしたりして、より攻撃力のあるチームになると、さらにレベルの高い試合展開ができると感じた。連続で失点したときの雰囲気をどう変えていくか、試合経験を積み、思い通りのプレーが思いっきり発揮できるよう、小笠全体で向上していきたい。

### 優勝作文

菊川市立岳洋中学校 戸塚 百萌

岳洋中学バレー部は、今までの新人戦で7連覇というすばらしい結果を残してきました。私たちも「新人戦優勝」を目標に、練習から緊張感をもち、必死に頑張ってきました。今回は、新チームになってから初の公式試合ということで緊張していました。その緊張がプレーに出て、ミスが連発し、声も出せず、リズムが悪くなってしまったときもありました。でも、みんなで声を出し、チームが一つになることで自分たちのリズムができ、いいプレーができました。チームがピンチの時こそ、みんなで声を出し合い、笑顔で楽しくプレーすることの大切さがわかりました。新人戦優勝の目標は達成することができました。新人戦での経験を生かし、私たちの次の目標である「県大会ベスト8」に入れるようにがんばります。

# 卓 球

## 総合体育大会

### 大会結果

#### 【個人戦】

〈男子〉

優 勝	大野 隼(掛川東)	準優勝	山入端ヒデキ(岳 洋)	3 位	八木啓太(栄 川)
4 位	桑島 龍(岳 洋)	5 位	大橋京平(掛川西)	6 位	花村清志郎(掛川西)

〈女子〉

優 勝	名波菜々子(大 浜)	準優勝	影山さくら(掛川西)	3 位	清水智子(御前崎)
4 位	大森奏美(大 浜)	5 位	柴田ひなた(掛川北)	6 位	落合詩織(掛川西)

#### 【団体戦】

〈男子〉

優 勝	掛川東	準優勝	岳 洋	3 位	菊川西、掛川西
-----	-----	-----	-----	-----	---------

〈女子〉

優 勝	掛川西	準優勝	菊川西	3 位	大 浜、掛川東
-----	-----	-----	-----	-----	---------

### 大会寸評

掛川市立東中学校 加茂 将昭

東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」で行われた卓球の部は、例年通り会場全体が興奮と感動の渦に巻き込まれた。初日の個人戦、男子では第1シードが初戦で敗れるなど本年度も番狂わせが見られ、夏の総体で勝つことの難しさを思い知らされた。女子では、大浜が優勝の名波、4位の大森だけでなく、5~8位リーグ戦に2名の2年生を送り込み、7位の鈴木悠雅まで最多3名の選手が県大会出場を獲得した。

2日目の団体戦、男子は個人優勝の大野を擁する掛川東中が優勝を果たした。予選リーグ、決勝での掛川東中対岳洋中の2回の対戦カードはともに3-2、勝負を分けたダブルスはともにフルゲームとなり、力の差は僅かであった。女子は前日の個人戦、5月のシード戦で好成績を残していた大浜中を菊川西中が予選で破ると、そのまま決勝に駒を進め、県大会出場を果たした。結果、掛川西中は準決勝で大浜中との大一番となつたが、これを制すると、決勝でも菊川西中を破り、連覇を果たした。

本年度は、個人戦での躍進だけでなく、団体戦で入賞したチームでも多くの2年生が主力として総体を十分に経験した。来年度は更に熱い戦いを期待したい。

### 優勝作文（男子）

掛川市立東中学校 大野 隼

僕たちは「県大会2回戦突破」、「グッドマナー賞受賞」、「普段から当たり前のこと当たり前にする」の3つを目標に部活動を行ってきました。しかし、このチームには3年生が3人しかおらず、部員のほとんどが中学生から始めた人ばかりで、1つ目の「県大会2回戦突破」は厳しいかと思われていました。その中でも、今回、このような結果が出たことは、2つ目、3つ目の「グッドマナー賞受賞」、「普段から当たり前のこと当たり前にする」を目標にしたことが理由だと僕は思います。結果だけでなく、普段の生活から心がけることで優勝を掴み取ることができました。

また、このような結果を出すことができたのは、チームだけでなく、これまで支えてくれた皆様のおかげです。自分たちのためにも、これまで支えてくださった皆様のためにも、目標の1つ、「県大会2回戦突破」を目指し、県大会では全力を尽くしていきたいと思います。

### 優勝作文（女子）

掛川市立西中学校 弓桁 千裕

私は、小笠優勝・県大会ベスト8を目標に活動してきました。しかし、小笠優勝を達成するまでの道のりは決して簡単ではなく、たくさんの壁がありました。南北戦では、最後に大浜中に敗れて2位。西部大会でも、思うように勝ち上がることができずに予選敗退。その度に、これからどう改善していくのかみんなで話し合い、練習につなげていきました。私たちは、この1年間で様々なことを学び、大きく成長することができました。

中体連当日。念願の優勝を勝ち取ることができたとき、日々の努力が報われた瞬間でした。私たちは、掛西女子卓球部の小笠3連覇という大きな記録をつくることができました。しかし、まだ私たちには県大会が残っています。昨年、先輩たちが達成した県ベスト8に、今度は私たちが挑戦します。初めて挑む県大会の舞台に、全力でぶつかっていきます。

# 新人総合体育大会

## 大会結果

### 【個人戦】

- 〈南部男子2年〉 ①桑島(岳洋) ②山川(菊川西) ③平本(岳洋) ③鈴木(岳洋)  
〈南部男子1年〉 ①横山(御前崎) ②高塚(御前崎) ③佐藤(御前崎) ③笛野井(御前崎)  
〈南部女子2年〉 ①戸塚(菊川西) ②鈴木悠(大浜) ③鈴木彩(大浜) ③安間(大浜)  
〈南部女子1年〉 ①田中(菊川西) ②石井(大浜) ③今村(御前崎) ③栗田(菊川西)  
〈北部男子2年〉 ①川上(掛川東) ②望月(桜が丘) ③高木(桜が丘) ③山下(掛川北)  
〈北部男子1年〉 ①青山(掛川東) ②柴田(掛川北) ③榎葉(掛川北) ③鍋田(掛川北)  
〈北部女子2年〉 ①山田(掛川西) ②青木(掛川西) ③林(掛川西) ③石川(掛川北)  
〈北部女子1年〉 ①青野(桜が丘) ②曾根(桜が丘) ③萩原(桜が丘) ④森下(掛川東)

### 【団体戦】

- |        |    |     |     |     |    |     |
|--------|----|-----|-----|-----|----|-----|
| 〈南部男子〉 | 優勝 | 岳洋  | 準優勝 | 菊川西 | 3位 | 大須賀 |
| 〈南部女子〉 | 優勝 | 大浜  | 準優勝 | 菊川西 | 3位 | 岳洋  |
| 〈北部男子〉 | 優勝 | 桜が丘 | 準優勝 | 掛川東 | 3位 | 掛川西 |
| 〈北部女子〉 | 優勝 | 掛川西 | 準優勝 | 掛川東 | 3位 | 掛川北 |

## 大会寸評

掛川市立東中学校 加茂 将昭

例年通り、南北男女団体戦、南北男女学年別個人戦の計12種目を1日で行うハードスケジュールで大会を行った。各学校の顧問の先生方には、準備からご協力いただき、スムーズに大会運営を行うことができた。

本年度の大会では、団体では例年通りに入賞したチームが目立ち、個人の入賞者にはチームの偏りが目立った。卓球は個人スポーツであるが、特に中学年代では、チームの雰囲気や姿勢が大きく影響すると感じる。夏の総合体育大会で県大会への狭き枠を争うこととなるこの地区ではプレーや態度で模範となるチームが出現することで、地区全体の意識が向上すると考える。影響を与えるチーム、それを受けけるチームが増え、上位大会でも活躍できるチームが出てくることを期待したい。

## 優勝作文（南部男子）

菊川市立岳洋中学校 桑島 龍

今回の新人戦を通して、課題や目標がいくつか出てきました。

新チームになりチーム一丸となって新人戦当日までやってきました。しかし、中には遊んでいる人や、一丸となれていない人がいました。チームで互いに注意し合い、改善していこうとしました。その結果、チームとしてのまとまりが出てきたように思います。応援にも磨きをかけました。声出しを始め、試合に出なくとも応援で積極的に参加するようになりました。この新人戦優勝は、団体戦メンバーだけで獲得した優勝ではなく、全員で獲得した優勝と言えるような新人戦にすることができたと思います。これからも、みんなの見本となれるよう、技術力や生活態度にも磨きをかけていきたいと思います。

## 優勝作文（南部女子）

掛川市立大浜中学校 大石 愛夏

私たちは顧問の先生から「チャンスの学年」と何度も言われてプレッシャーを感じていました。それなのに新チームがスタートした時は、みんなのやる気は差が大きく、新人戦で優勝できるかとても不安に感じていました。初めての練習試合では満足のいくプレーができず、悔しさが残る結果でした。でも、それがきっかけでみんなの気持ちも前向きになってきました。練習試合を繰り返すうちに「こんなところで負けられない」と粘りのあるプレーが増えたように思います。

新人戦当日は、みんなの気持ちがひとつになり、緊張している仲間に声をかけたり、今まで以上に声を出して応援したりとお互いを支え合いました。みんなが同じ目標をもつことができたからこそ優勝できたと思うし、これからも協力して練習に取り組みたいと思います。

## 優勝作文（北部男子）

掛川市立桜が丘中学校 望月 俊希

「小笠制覇」これが僕たちの目標です。今回、新人戦北部優勝をして、目標へ向けて良い一步が踏み出せたと思います。

僕たち桜が丘中学校男子卓球部は、新チームになってから「僕たちが新人戦で優勝するんだ」という気持ちで練習に励んできました。なるべく早く活動場所に行くようにし、部活動ができる時間を増やそうとしました。また、新人戦に向けてダブルスを考えたり、作戦をみんなで考えたりして、自分たちにできることをやり尽くしました。

新人戦では、今までの練習の成果を発揮し、どんなに追い詰められてもあきらめずに最後まで戦うことができました。「小笠制覇」という目標が僕たち全員の心にあったからこそ、できたことだと思います。これはきっと、僕たちの成長の証です。

僕たちの目標「小笠制覇」は、まだ達成していません。今回の結果で満足せずに、さらに上を目指して、これからも頑張りたいです。

## 優勝作文（北部女子）

掛川市立西中学校 佐野 柚月

私たちは、まだまだ未完成なチームです。マナーもプレイも、「私たちが一番」と、胸を張って言うことはまだできません。そんな中で迎えた小笠新人戦。今できる自分たちの精一杯で戦いました。チームとしても、個人としても、良い点・課題点の両面を見つけることができたと思います。

私たちの先輩は、すごい人ばかりでした。そんな先輩方が築いてくれた伝統は、私たちの自慢でもあり、プレッシャーでもあります。そのプレッシャーに勝ち、北部優勝を勝ち取れたことは、このチームの大きな一歩になったと思います。新チームになって決めた目標に向かって、さらにチームで一つになり、一歩ずつ進んでいきたいです。

# 柔道

## 総合体育大会

### 大会結果

団体戦（男子） 優勝 浜岡 準優勝 菊川西 3位 大浜

団体戦（女子） 優勝 大浜 準優勝 浜岡

### 個人戦（男子）

50キロ以下級 1位 二村琉伽（大浜） 2位 伊藤義晃（大浜）

55キロ級 1位 貝塚立矢（浜岡） 2位 平野巧（掛川東）

60キロ級 激励賞 伊藤巧麻（菊川西）

66キロ級 1位 岡本丈治（菊川西） 2位 福井康介（浜岡）

73キロ級 1位 河原崎恵伍（浜岡）

81キロ級 1位 河野ユウキ（大浜） 2位 横山大和（御前崎）

90キロ級 激励賞 花枝龍星（浜岡）

90キロ超級 激励賞 田端一貴（浜岡）

### 個人戦（女子）

40キロ級 激励賞 佐藤舞花（大浜）

48キロ級 激励賞 鈴木花風（大浜）

52キロ級 1位 石原綾（浜岡）

57キロ級 激励賞 宮原理沙（菊川東） ※各階級1位が県大会出場

### 大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 原田剛

今年の柔道大会への参加者は29人。男子団体戦は大浜中と浜岡中そして菊川西中の3校決戦。女子団体戦は、大浜中と浜岡中の2校決戦となり、大会試合数は昨年度よりも増えた。しかし、部員数減少は変わらず、開催されない階級もあり、残念に思う。個人戦については、男女共に活気溢れる大会となった。男子団体戦は、浜岡中が大浜中、菊川西中を倒し、3年ぶりに栄冠を手に入れた。個人戦では、階級ごとに参加人数の差があったが、浜岡中や大浜中の活躍が目立った。また、菊川西中の参加が大幅に増え、より大会が華やかとなつた。近年は部活動としての活動が困難な状況は避けられないが、社会体育参加や個人の工夫や努力により実力をつけ、県大会勝利や東海大会出場に向けて頑張ることを期待する。

大会運営では、小笠地区柔道協会や栗田徳光先生をはじめ、小笠各地区で指導なさっている柔道指導者に審判やコーチをしていただき、スムーズに大会を運営することができた。選手の礼儀作法やマナーもすばらしく、さわやかな大会であった。

### 優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 河原崎恵伍

今年の浜岡中学校柔道部は、男子4人女子1人が、団体戦では男子が3年ぶりに県大会出場することができました。団体戦、個人戦共によい結果が出せたのは、僕たちのことをたくさん指導してくれた先生方や支えてくれた保護者のみなさんがいたからだと思っています。僕たちのことを応援し、支えてくれた保護者の皆さんや先生方に感謝しています。本当にありがとうございました。

後輩たちは今よりもっと強くなってください。さらなる活躍を楽しみにしています。

# 陸上競技

## 総合体育大会

大会結果	【総 合】	優 勝	菊川西	準優勝	掛川西	3 位	岳 洋
	【男 子】	優 勝	菊川西	準優勝	掛川西	3 位	浜 岡
	【女 子】	優 勝	菊川西	準優勝	掛川東	3 位	岳 洋

## 大会寸評

菊川市立岳洋中学校 小林 大晃

平成 29 年度小笠地区中学校陸上競技大会は、7月 26 日にエコパスタジアムで行われました。本大会には、全国、東海大会出場を決めた 4 種競技、男子 110 m H の浅井隆選手（菊川西中 3 年）、女子 2 年 100 m の丹羽花香選手（菊川西中 2 年）、女子 100 m H の松下里帆選手（菊川西中 3 年）、東海大会出場を決めた男子 2 年 100 m の赤堀眞選手（岳洋中 2 年）、3 年 100 m の杉山航平選手（栄川中 3 年）、男子走高跳の矢崎裕大選手（掛川西中 3 年）、男子砲丸投の岡本丈治選手（菊川西中 3 年）と県大会などで活躍した多くの選手が出席しました。また、本大会では 2 年 100 m で赤堀眞選手（岳洋中 2 年）が 11 秒 40、女子 2 年 100 m で丹羽花香選手（菊川西中 2 年）が 12 秒 66、女子 100 m H で松下里帆選手（菊川西中 3 年）が 14 秒 93、女子共通 4 × 100 m R で菊川西中が 50 秒 64 と大会記録を破る活躍も見られました。

成績としては、総合の部では、各種目全般的に得点を集めた菊川西中が優勝、男子の活躍が著しかった掛川西中が準優勝、女子の活躍、特に長距離種目で多くの得点を集めた岳洋中が第 3 位でした。男子の部では、優勝が菊川西中、準優勝が掛川西中、3 位が浜岡中でした。女子の部では、優勝が菊川西中、準優勝が掛川東中、3 位が岳洋中でした。入賞した 3 校だけでなく、各学校とも率先して準備や片付けを行い、競技に臨む態度や仲間を全力で応援する姿は非常に素晴らしい、生徒のマナーは年々向上していると言えます。

最後に、本大会がスムーズに運営できたのも、当初より計画や準備に携わってくださいました諸先生方の御尽力と、大会当日にご協力くださった各校の諸先生方や役員の方のおかげであります。また、本年度も暑い中での大会でした。先生方や役員の方々には、熱中症対策にも細心の注意を払っていたとき感謝しています。ここに記して厚く御礼申し上げます。

## 優勝作文（総合の部・男子の部）

菊川市立菊川西中学校 落合 晴信

三年連続総合優勝達成。これは先輩達が残してきた伝統をつなぎ、そして先輩達への感謝を表すためでもありました。菊西は冬の厳しい練習を部員一丸となって行つきました。だからこそ、春に行われた大会から応援にも力が入りました。「応援の力はすごい」みんながそれを実感し、チームとしてのつながりも強くなりました。僕も部長として統率力、自ら考えて行動する力が成長した一年でした。そして迎えた小笠中体連。全日中出場者を筆頭に今まで悔しい思いをした人、大会に出られなかった人達もこの大会にその思いをぶつけました。入賞者が続々と菊西から出ました。見えないところでも部員同士がつながり、競技に臨んだ結果です。僕がとても嬉しかったのは優勝したことはもちろんですが、このメンバーで最高の思い出が作れたことです。「感動共有、全員最高、エンジョイナウ」この大会ではまさにそれを表現することができました。これで三年生は引退してしまうけど、この伝統を後輩達につないでいってほしいです。

## 優勝作文（女子の部）

菊川市立菊川西中学校 松下 里帆

今年の中体連は私達三年生にとって最後の中体連でした。それと共に総合優勝三年連続がかかっていました。正直言って自信がありました。このメンバーなら優勝できる。でも、だからといって油断していると何が起こるかわかりません。だから日々の練習に心をこめて取り組んできました。もう一つ私には目標がありました。それは、ハードルとリレーで大会新記録を出すことです。去年の小笠新人では大会新記録を出すことができなくてとても悔しい思いをしたということもあり、より一層強い思いをもって臨みました。大会当日、チームのメンバーみんなが笑顔でした。競技が始まると応援したり、応援されたりととても温かい中でレースができました。私はあまりスタンドに行けなかったのですが、応援されることで力が湧いてくるような気がしました。そして、楽しい時間はあつという間に過ぎていきました。結果は、男女共に優勝。私もハードルとリレーで大会新記録を出すことができました。こんなにも楽しくて嬉しかった大会は初めてでした。陸上競技は個人戦ですが、私は団体戦だと思っています。なぜなら、菊川西中陸上部がここまで来られたのは一人をみんなで応援し、それがつながって大きな力になったからです。これから菊川西中陸上部の活躍も楽しみにしています。

平成29年度 小笠地区中学校陸上競技大会

《男子》

種目	1位		2位		3位		4位		5位		6位		7位		8位		9位		10位	
	氏名	學校名	記録	氏名	學校名	記録	氏名	學校名	記録	氏名	學校名	記録	氏名	學校名	記録	氏名	學校名	記録	氏名	學校名
年100m	小田 錠馬	菊川西	12.57	高木 大丈	1 菊川西	12.69	西澤 卓希	1 菊川西	12.92	戸塚 秀廉	1 菊川東	13.15	松村 春斗	1 滝川西	13.23	安達 太陽	1 実川	13.38		
年1500m	松本 悠真	1 滝川西	4:39.62	榎田 勝生	1 浜岡	4:46.09	小坂 一輝	1 滝川西	4:55.35	秋鹿 雅史	1 菊川東	5:00.43	垣田 勉生	1 浜岡	5:01.99	大石 航多	1 滝川東	5:07.11	10	1
年1000m	○赤堀 賢	2 湘南	11.40	名波 大輝	2 浜岡	11.92	岸堀 雄太	2 菊川東	12.03	片桐 海瞬	2 浜岡	12.06	丸尾 栄平	2 浜岡	12.12	△林 伸介	2 滝川西	12.24		4
年1000m	松浦 海龍	2 滝川北	4:36.70	大石 心誠	2 滝川西	4:39.96	若井 文宏	3 滝川西	4:41.56	田安 至恩	3 菊川東	4:44.76	上野 雄太	2 滝川西	4:47.45	東 空羽	2 滝川北	4:50.89	11	7
年1000m	杉山 航平	3 実川	11.47	熊野 駿哉	3 滝川北	11.81	古川 遼己	3 浜岡	12.00	堀内 徹	3 大須賀	12.17	花澤 順汰	3 飯前崎	12.18	落合 駿悟	3 菊川西	12.36	5	6
年1000m	伊藤 大暉	3 鶴見前崎	4:28.90	松井 酒	3 菊川西	4:28.05	櫻山 駿飛	3 菊川西	4:35.80	星田 武	3 横浜	4:36.31	澤水 佑介	3 横浜丘	4:37.54	青島 皇慶	3 菊川西	4:47.09	12	6
年1000m	杉山 新平	3 実川	23.30	赤堀 賢	2 岩洋	23.57	熊野 駿成	3 滝川北	23.59	崎峰 伸哉	3 滝川西	23.69	鈴木 駿大	3 滝川東	24.83	古川 謙己	3 浜岡	24.84		5
年200m	浅井 隆	3 菊川西	0:53.44	大石 駿汰	3 滝川西	0:54.17	北村 公一	3 浜岡	0:55.83	松下 新	3 滝川北	0:56.05	鈴木 駿哉	3 菊川東	0:56.39	森田 義豪	3 滝川東	0:57.02		8
年400m	浅井 隆	3 菊川西	2:08.00	松井 酒	3 菊川西	2:08.09	松下 新	3 浜岡	2:08.63	北村 公一	3 滝川北	2:09.96	河原崎友人	2 岩岸	2:11.51	松本 恵眞	1 滝川西	2:15.18	6	4
年800m	横山 車豫	3 菊川西	3:00.00	星野 大輔	3 横浜	3:00.35	伊藤 大晴	3 横浜丘	3:00.41	澤水 佑介	3 菊川西	3:00.78	施田 航生	1 浜岡	3:01.46	青島 皇慶	3 菊川西	3:02.43	10	2
年3000m	浅井 隆	3 菊川西	9:47.35	星野 大輔	3 横浜	9:48.41	伊藤 大晴	3 横浜丘	9:59.98	澤水 佑介	3 菊川西	10:08.78	施田 航生	1 浜岡	10:16.46	青島 皇慶	3 菊川西	10:28.43	5	4
年1100mH	浅井 隆	3 菊川西	15.26	星野 大輔	3 岩洋	17.53	杉山 太洋	2 滝川東	19.12	筈川 優大	2 滝川北	20.31	和田 渉夢	2 岩岸	21.27	西澤 挙希	1 菊川西	22.31	3	7
年1000mR	菊川西	0:50.08	...	...	...	0:50.58	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:46.55	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...	...	0:47.29	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
年1000mR	...	0:45.82	...	...	0:46.54	...														

卷之三

種目		1位		2位		3位		4位		5位		6位		7位		8位		9位		10位			
氏名	年校名	記録	氏名	年校名	記録	氏名	年校名	記録	氏名	年校名	記録	氏名	年校名	記録	氏名	年校名	記録	氏名	年校名	記録	氏名	年校名	
年100m	佐藤 邪	1 滝川北	14.03	佐藤 瑛	1 滝川西	14.06	塙 順	1 岳洋	14.20	坂下 美穂	1 岳洋	14.27	瀬川 西	14.27	高岡 雄	1 浜岡	14.33	安藤 優羽	1 滝川東	14.62			
年800m	赤堀 光	1 岳洋	2:38.51	遠渡 零音	1 岳洋	2:39.24	谷口 由衣	1 滝川北	2:43.12	八木 亜朱	1 滝川	2:45.11	斎藤 まのか	1 滝川東	2:45.64	伊藤 季華	1 大須賀	2:45.82	大須賀 一	1 滝川西	2:45.82		
年100m	〇丹羽 花香	2 菊川西	12.73	鈴木 浩次	2 菊川東	13.78	松村 葵里	2 岳洋	13.89	大堀 咲月	2 挿川西	13.92	鷹屋 日向	2 岳洋	13.96	中山 球里	2 挿川東	14.01	中村 広菜	2 挿川北	14.01		
年100m	松下 里帆	3 菊川西	13.09	漫羽 芽依	3 菊川西	13.32	美田佳奈子	3 挿川東	13.50	波多野厚々	3 挿川東	13.56	大河原愛理	3 挿川東	13.71	中村 広菜	3 挿川北	13.73	中村 広菜	3 挿川北	13.73		
波多野厚々	波多野厚々	3 挿川東	27.71	栗田佳奈子	3 挿川東	28.02	福田 妃咲	3 横が丘	28.55	中村 芹菜	3 挿川北	28.59	安松 優羽	3 挿川東	28.75	伊藤 瑛	1 菊川西	28.85	伊藤 瑛	1 菊川西	28.85		
後藤 美咲	3 岳洋	2:25.03	沖 千鶴	2 滝川	2:29.02	眞田 木菜	3 横が丘	2:28.55	斎藤 爰	3 挿川西	2:28.34	栗田 真帆	3 挿川東	2:30.64	望月ひかり	3 菊川西	2:32.71	2	1	6	5		
後藤 美咲	3 岳洋	5:01.32	後藤 美咲	3 岳洋	5:04.45	後藤 美咲	3 菊川西	5:17.22	渡邉 零音	1 芦井	5:25.34	横本 麻代	2 菊川西	5:31.35	赤堀 光	1 芦井	5:32.38	赤堀 光	1 芦井	5:32.38			
後藤 里帆	3 菊川西	14.93	漫羽 芽依	3 菊川西	15.43	浅井 昌美	2 菊川西	16.65	黒居 日向	2 岳洋	17.04	片平 翼海	2 挿川北	17.20	松本 球羅	1 挿川東	17.31	中村 幸	1 挿川東	17.31			
后川西A	后川西A	0:54.93	后川西A	0:55.26	后川西	0:55.76	后川北	0:56.77	后川西	0:56.96	后川西	0:57.17	后川西	0:57.55	后川西B	0:58.35	后川西B	0:58.35	后川西B	0:58.35			
后川西A	后川西A	0:50.64	后川西	0:53.41	后川西	0:53.55	后川西	0:55.36	后川西	0:55.36	后川西	0:55.57	后川西	0:55.72	后川西	0:55.72	后川西	0:55.72	后川西	0:55.72			
后川西A	后川西A	0:50.12	后川西	1m40	漫羽 アヤ	3 挿川東	1m35	安野 葵香	3 挿川東	1m35	安野 葵香	3 挿川東	1m35	水野 葵唯	2 菊川西	1m25	宮崎ささらら	3 菊川西	1m25	宮崎ささらら	3 菊川西	1m25	
漫羽 美弓	3 挿川東	1m40	佐藤 美優	3 挿川東	1m40	丹羽 花香	2 菊川西	4m66	柿田 美	2 頂峰	4m62	松村 葵里	2 芦井	4m60	佐藤 紀佳	3 挿川北	4m59	湯浅 未来	2 菊川西	4m59	湯浅 未来	2 菊川西	4m59
漫羽 美弓	3 挿川東	4m73	佐藤 美優	3 挿川東	4m73	丹羽 花香	2 菊川西	10m53	山下 信夏	2 挿川東	10m56	芦瀬 朱音	3 芦井	9m40	佐藤 紗々鈴	3 挿川東	9m29	渡井 昌美	2 菊川西	9m27	渡井 昌美	2 菊川西	9m27
漫羽 美弓	3 菊川西	11m12	見玉 美	2 挿川西	10m53	見玉 美	2 挿川西	10m53	見玉 美	2 挿川東	10m56	見玉 美	2 挿川東	10m56	女子四体博点	1 菊川西	10m53	女子四体博点	1 菊川西	10m53	女子四体博点	1 菊川西	10m53
漫羽 美弓	3 菊川西	11m12	見玉 美	2 挿川西	10m53	見玉 美	2 挿川西	10m53	見玉 美	2 挿川東	10m56	見玉 美	2 挿川東	10m56	女子四体博点	1 菊川西	10m53	女子四体博点	1 菊川西	10m53	女子四体博点	1 菊川西	10m53

◎は大会新記録、○は大会タイ記録

開発の場合は、上位入賞得点が多い学年を上位とする

開室の場合は、上位入賞時

優勝		準優勝		第3位			
男子	菊川市立菊川西中学校	掛川市立西中学校	御前崎市立浜岡中学校				
女子	菊川市立菊川西中学校	掛川市立東中学校	菊川市立岳洋中学校				
総合	菊川市立菊川西中学校	掛川市立西中学校	菊川市立岳洋中学校				
男女総合得点		22	76	58	72.5	22	9
男女総合順位		2				1	3

## 新人総合体育大会

大会結果	【男 子】優 勝 菊川西	準優勝 掛川東	3 位 菊川東
	【女 子】優 勝 菊川西	準優勝 掛川東	3 位 岳 洋

### 大会寸評

菊川市立岳洋中学校 小林 大晃

平成 29 年度新人陸上競技大会は、10月1日（日）に、エコパスタジアムで行われました。大会当日は、陸上部顧問を中心に、陸上競技協会の方々の協力を得て運営をし、全種目予定通り進行することができました。また、各中学校の3年生が補助員として協力してくれたこともあり、1、2年生の選手が補助員を外れ、ゆとりをもって競技に参加することができました。昨年同様、タイムテーブルは、できるだけ選手の負担を軽減させるよう配慮しました。また、本大会より各審判部での引き継ぎ資料を作成しました。今後も大会運営の仕方を隨時見直し、審判主任が変わったとしても円滑な運営ができるよう役立てていきたいと考えています。多くの方々の支えのおかげで、無事に大会を終えることができたことに誠に感謝します。御協力ありがとうございました。

団体の部の結果は、全種目で得点を取り、総合的に力を発揮した菊川西中学校が男女アベック優勝を果たしました。また、本大会では新記録こそ出なかったものの、それに迫る競技が数多くあり、西部大会を通過し、県大会へと進出を決めている選手も多く、来年度への期待がもてる大会となりました。

今後も多くの選手が西部大会を通過し、県大会や東海大会、そして全国大会への出場を果たせるよう小笠地区陸上競技部一丸となって競技力の向上を目指します。

### 優勝作文（男子の部）

菊川市立菊川西中学校 山内 愛斗

小笠中体連が終わり、新チームが結成された。2年生4人、1年生8人の少人数で、先輩達と比べ、競技力も劣り、誰もが総合優勝は不可能だと思った。でも先生がおっしゃった「ベストを尽くし、諦めなければ何かが起きる」チームで戦略を立て、個人の目標点数と記録を明確にした。先輩達が全国で戦っている間、自分達で練習するとだれてしまい、まとまらないこともあった。でも少しずつ「ベストを尽くす」ということがわかり、当日まで練習を重ねた。結果は、最終種目で逆転。1点差で男子総合優勝を成し遂げた。この新人戦でベストを尽くし、最後まで諦めなければ何かが起こることを学ぶことができた。これからもチーム一丸となり、「ベストを尽くし」来シーズンの中体連では4連覇を達成したい。

### 優勝作文（女子の部）

菊川市立菊川西中学校 浅井 昌美

菊川西中陸上部の目標は、「全員陸上」です。みんなで気持ちを一つにしてとる総合優勝に力を入れています。今回の新人戦では、今までの先輩達が創ってきた伝統を引き継ぎたいと思っていました。しかし、大会に向けての練習では、皆の心がなかなか一つにならず、総合優勝に対する気持ちに温度差がありました。正直、部長としても焦りがあり、自分の力不足を感じました。皆、危機感がなく、先生に怒られたり、話し合いをたくさんしながら迎えた当日、総合優勝することができたものの両手をあげて喜ぶことはできませんでした。大会が終わってから今までの練習の中でも個々が仲間のことを考えずに、正直「全員陸上」ができるとは言えませんでした。相手を思いやることを大切にしながら、来年度の中体連に向けて皆が意識を高めて一つになるように頑張ります。そして、2年連続全国大会出場、小笠中体連では4連覇を成し遂げます。

平成29年度 小笠地区中学校新人陸上競技大会

ヨコハマスタジオ

2017年10月1日

○天蓋新記録

卷之三

優勝		準優勝	第3位
男子	菊川市立菊川西中学校	鎌川市立東中学校	菊川市立菊川東中学校
女子	菊川市立菊川西中学校	鎌川市立東中学校	鎌川市立岳洋中学校

# バスケットボール

## 総合体育大会（男子）

<予選リーグ>

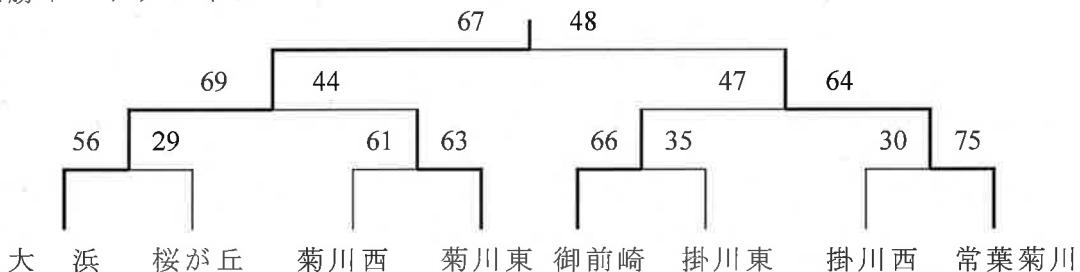
あ	大浜	大須賀	菊川西	順位
大浜		67-32	68-36	1
大須賀	32-67		57-78	3
菊川西	36-68	78-57		2

い	常葉菊川	掛川東	岳洋	順位
常葉菊川		93-30	81-26	1
掛川東	30-93		58-53	2
岳洋	26-81	53-58		3

う	御前崎	桜が丘	城東	原野谷	順位
御前崎		63-31	83-10	120-9	1
桜が丘	31-63		63-30	86-7	2
城東	10-83	30-63		74-23	3
原野谷	9-120	7-86	23-74		4

え	菊川東	掛川北	掛川西	浜岡	順位
菊川東		75-60	67-44	67-33	1
掛川北	60-75		40-53	41-50	4
掛川西	44-67	53-40		53-26	2
浜岡	33-67	50-41	26-53		3

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 大浜 準優勝 常葉菊川 3位 御前崎、菊川東

大会寸評

掛川市立北中学校 増田 陽一

予選リーグ、決勝トーナメントともに熱戦が繰り広げられ、最終ピリオドまで勝敗が分からぬ好ゲームが多く、最後まで諦めない選手たちの姿が大変印象的な感動ある大会となつた。

決勝戦は第1シードの大浜中と第2シードの常葉菊川中の対戦となった。序盤、大浜中は#6, #7のアウトサイドシュートやドライブを中心としたオフェンスで加点していく。常葉菊川中は、オフェンスでは#6の1対1や#4のドライブで対抗する。第2ピリオドでは、大浜中の#5がリバウンドや確実なポストプレーでゴール下を支配する。アウトサイドシュートも精度が高く、次第にゲームの流れは大浜に傾いていく。#5がファウルトラブルでベンチに退いた際も#12がその穴をきっちりと埋め、大浜中10点リードで前半を折り返した。後半に入っても大浜中ペースは変わらず、アウトサイド、インサイドどこからでも得点が取れる強みを発揮して加点していく。常葉菊川中も#4, #6を中心としたオフェンスで追いますが、最後まで気を緩めず、高い集中力を保ち続けた大浜が見事に栄冠を手にした。

優勝作文

掛川市立大浜中学校 富口 海

「小笠1位、県大会ベスト8」という目標を達成するために、僕たちは日々の練習を全力で取り組んできました。長期目標達成のため、1つ1つの大会で短期目標を決めていきました。しかし、最初はなかなか短期目標を達成することができませんでした。しかし、高校生との合同練習や、遠征を通してたくさんのこと学び、チーム力を高めることができました。こうして優勝できたのは、熱心に指導してくださった先生、いつもあたたかく見守ってくれた保護者の皆様のおかげです。県大会でも部員全員が同じ気持ちになってがんばりたいです。

## 総合体育大会（女子）

<予選リーグ>

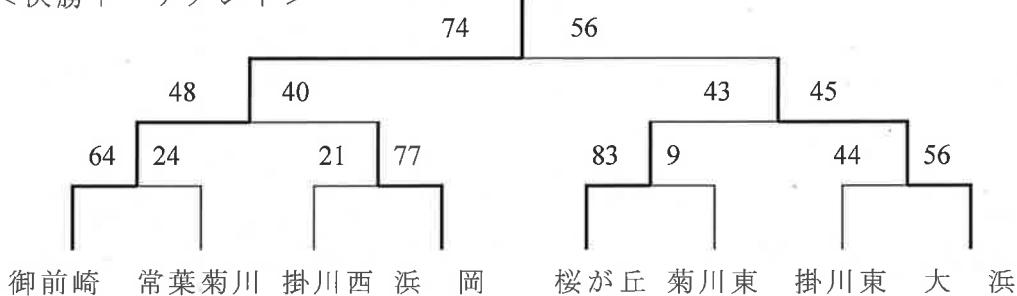
か	御前崎	掛川西	大須賀	順位
御前崎		102-15	113-15	1
掛川西	15-102		50-26	2
大須賀	15-113	26-50		3

き	大浜	菊川東	岳洋	順位
大浜		68-26	127-11	1
菊川東	26-68		47-41	2
岳洋	11-127	41-47		3

く	桜が丘	常葉菊川	菊川西	順位
桜が丘		39-24	62-42	1
常葉菊川	24-39		59-39	2
菊川西	42-62	39-59		3

け	浜岡	掛川東	掛川北	順位
浜岡		44-35	96-19	1
掛川東	35-44		57-25	2
掛川北	19-96	25-57		3

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 御前崎 準優勝 大浜 3位 桜が丘、浜岡

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 山岡 文彦

今年度は、小笠地区で新人戦などの大会を全て制してきた御前崎中を中心に、大浜中、桜が丘中、浜岡中が準決勝に進み、熱戦を繰り広げた。

決勝戦は、様々なポジションから得点できる御前崎中と、準決勝で勝ち越しブザービーターを決めたエースの#4を擁する大浜中との戦いとなった。試合は序盤から、インサイドと速い展開からのドライブを武器に得点を重ねる御前崎中のペースで進んでいった。対する大浜中も、鍛えられた精度の高い1対1で得点をしていった。しかし、徐々に大浜中のシュートが落ち始め、御前崎中が確実に得点をしていった。大浜中はメンバーを交代し、激しいディフェンスで流れを変えようと試みるが、最後は御前崎中が大浜中のディフェンスを圧倒して74対56で勝利を飾り、大会の幕が閉じた。

優勝作文

学校組合立御前崎中学校 坂田 結芽

私たちの小笠総体での目標は、優勝することでした。そのために、一つ一つのチームを研究し、チームで話し合いをたくさんしました。練習は、厳しく辛いことが多かったですが、みんなと支え合いここまでくることができました。優勝したということは、県大会に出場するということです。この小笠地区の思いを背負って戦いたいと思います。

私たちの最終的な目標は、県大会ベスト8です。この目標に向かって練習をやることができたのは、いろいろな人の支えがあったからです。先生、コーチ、家族、そしてバスケができる環境。すべてに感謝をし、全力でプレーをしたいと思います。

## 新人総合体育大会（北部男子）

	掛川東	掛川西	桜が丘	掛川北	原野谷	順位
掛川東	42-41	48-50	51-47	101-12	1	
掛川西	41-42	52-26	59-35	46-25	2	
桜が丘	50-48	26-52	35-35	56-22	3	
掛川北	47-51	35-59	35-35	65-28	4	
原野谷	12-101	25-46	22-56	28-65	5	

大会結果 優勝 掛川東 準優勝 掛川西 3位 桜が丘

### 大会寸評

掛川市立北中学校 増田 陽一

各校の実力が拮抗し、最後までどちらが勝つかわからない好ゲームが多く、大変見応えのある大会となつた。その中でも、技術力の高さとゴール下のプレーで得点を重ね、何度も接戦を制した掛川東中が優勝を果たした。堅実で組織力の高いディフェンスが持ち、味の掛川西中、桜が丘中、原野谷中と、それぞれが自らが基礎的な技術で不満足な走る掛川北中、攻守に渡り最後までは、まだどのチームも経験が浅く、選手たる一ムの持ち味を発揮した。今大会では、さまざまな成長が期待できる。また、選手たる体力不足が見られたため、これからますますの成長が期待できる。また、選手たる一生懸命ボールを追いかける姿、相手チームや審判に対する礼儀、ベンチや応援席で精一杯応援する姿が大変好印象であった。

### 優勝作文

掛川市立東中学校 犬塚 裕紀

新チームになって初めての公式戦で優勝することができて良かったです。二試合目の桜が丘戦では接戦の末負けてしまいました。その時はもう優勝はできないと思いました。しかし、全員気持ちを切り替え、次の二試合では接戦を勝ちきり、優勝することができました。この大会を通して良いところもあり、夏からの練習の成果を感じることができました。一方で、いくつか課題も見つかりました。自分たちのリズムでゲームを始めることや自分たちで雰囲気を盛り上げることなどです。だから、これから練習でその課題を直し、目標の「小笠優勝、県大会1勝以上」を目指します。そして支えてくださった先生方、保護者の方、先輩方に感謝し、恩返しができるようにがんばっていきます。

## 新人総合体育大会（北部女子）

	桜が丘	常葉菊川	掛川北	掛川東	掛川西	順位
桜が丘	49-28	61-48	42-23	50-18	1	
常葉菊川	28-49	38-35	46-25	45-19	2	
掛川北	48-61	35-38	46-37	47-21	3	
掛川東	23-42	25-46	37-46	40-28	4	
掛川西	18-50	19-45	21-47	28-40	5	

大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 常葉菊川 3位 掛川北

### 大会寸評

掛川市立東中学校 井浪 貴斗

昨年度の1年生大会において圧倒的な強さで小笠北部を制した桜が丘中が、今大会でもその強さを発揮した。チームとしても個人としても守備が堅実であり、さらに個々のシュート力の高さでも他チームを圧倒した。桜が丘中が北部地区二連覇を果たした。2位争いは常葉菊川中と掛川北中の激闘となった。接戦の末、ここぞという場面での決定力で勝る常葉菊川中が準優勝となった。上位には届かなかった掛川東中、掛川西中は基礎的なミスが目立った。どのチームも、経験が浅く、今後の成長が楽しみである。また、どのチームも、一生懸命にボールを追いかけたり、審判に「お願いします。」とボールを手渡したりするなど、気持ちのよいコートマナーが好印象であった。

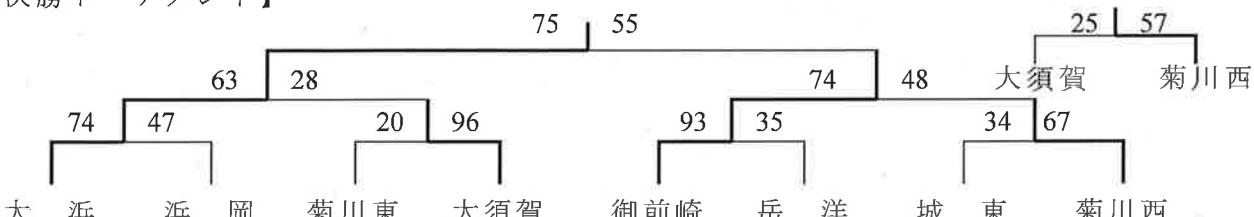
### 優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 中山 あすか

私たちの目標は、新人戦で優勝することでした。経験不足を補うため、夏休みはディフェンスや持久力を高めることを目的に練習しました。新人戦の初日は粘り強くディフェンスをし、オフェンスでもミスはありました。しかし、練習で学んだことを発揮することができました。しかし、2日目はディフェンスが甘く、改善するべき点が多く、練習の必要性を感じました。今回の大会で学んだことを今後の練習に生かし、いつも支えて下さる先生、保護者の方々に感謝し、期待に応えられるよう、全力で取り組んでいきます。

## 新人総合体育大会（南部男子）

### 【決勝トーナメント】



大会寸評

掛川市立大浜中学校 大杉 鏡康

今年の決勝戦は、粘り強い守備と速攻を武器とする大浜中と、身体能力を生かした攻撃を武器とする御前崎中の対戦となった。序盤は、大浜中が#4、#5を中心に速い展開で得点を重ねていく。対する御前崎中も#5の力強いインサイドプレイや#6のシュートで対抗をしていく。しかし第2ピリオド、大浜中が御前崎中の#5へのマークを厳しくし、流れが変わる。後半、御前崎中も#7の1対1などで追いかがるが、最後までリードを保った大浜中が新人戦優勝を飾った。

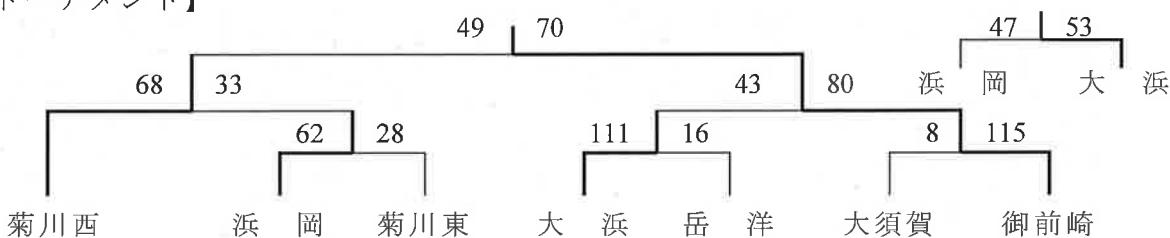
### 優勝作文

掛川市立大浜中学校 坂田 翔

新人戦では、自分たちの強みである、激しいディフェンスからブレイクを出すことができ、いい流れでプレーすることができます。しかし、自分たちのミスから相手に流れを渡しかけた時間帯もありました。今回の大会で多くの課題を見つけることができたので今後に生かしていきたいです。これまで支えてくださった全ての方々に感謝し、恩返しができるよう、最終目標の「東海大会出場」を達成できるよう、日々の練習に取り組んでいきたいです。

## 新人総合体育大会（南部女子）

### 【決勝トーナメント】



大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 山岡 文彦

今年の決勝戦は、身体能力を生かした積極的な攻撃が持ち味の菊川西中と、オールコートの果敢な守備で勝ち上がってきた御前崎中の対戦となった。序盤、菊川西中は、#4を中心に、リバウンドを奪ってからの速攻で得点を重ねる。しかし、御前崎中は前線からプレスをかけ、相手のミスを誘う。菊川西中も#5、#7を起点にパスでボールを運び、形勢逆転を図るが、後半になんても御前崎中の勢いは衰えなかった。速い展開から確実なシュートを決め続けた御前崎中が最後までリードを保ち、新人戦優勝を飾った。

### 優勝作文

学校組合立御前崎中学校 若林 莉央

新人総合体育大会優勝という、先輩方の輝かしい成績を引き継ぐことができて、とても嬉しいです。

まだまだ課題が山積みの私たちですが、課題があるということは、もっと強くなれるということだと思います。今回の成績に驕ることなく、小笠ナンバー1の座を守っていけるよう頑張ります。私たちが部活に集中できるのも、先生、コーチ、家族のご指導とご支援のおかげです。これからも応援してくださる方々に最高のプレーを観ていただけるよう、チーム一丸となり、気を引きしめて日々の練習に励みたいと思います。そして、必ず、“県大会一勝”の目標を達成したいです。

# サッカー

## 総合体育大会

予選リーグ

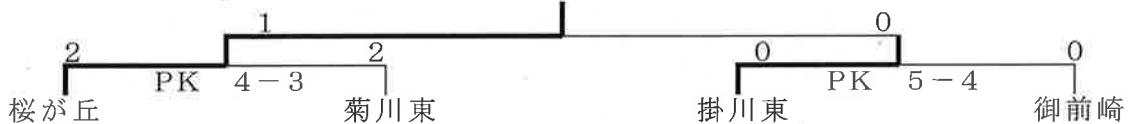
Aグループ

	掛川東	掛川北	掛川西	桜が丘
掛川東		○ 4-1	△ 2-2	✗ 2-3
掛川北	✗ 1-4		△ 0-0	✗ 1-3
掛川西	△ 2-2	△ 0-0		✗ 0-1
桜が丘	○ 3-2	○ 3-1	○ 1-0	

Bグループ

	御前崎	菊川西	菊川東	浜岡
御前崎		○ 2-1	○ 3-0	○ 3-1
菊川西	✗ 1-2		✗ 0-2	△ 1-1
菊川東	✗ 0-3	○ 2-0		△ 2-2
浜岡	✗ 1-3	△ 1-1	△ 2-2	

決勝トーナメント



大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川東 3位 御前崎、菊川東

大会寸評

掛川市立西中学校 初鹿野 亮

予選リーグAグループは、ノーシードの桜が丘中が初戦の掛川北中戦で3対1で勝利すると、その勢いそのままに第1シードの掛川東中にも3対2で勝利し、予選1位突破を決めた。第1シードの掛川東中は、初戦の掛川西中に引き分け、2戦目の桜が丘中戦に敗戦し、苦しい状況に追い込まれたが最終戦の掛川北中戦では技術の高さを見せ勝利し予選2位通過を決めた。予選リーグBグループは、第3シードの菊川西中が予選敗退する波乱となった。1位通過を決めたのは、技術の高いパスワークを武器として戦う御前崎中。2位通過を決めたのは、チーム一丸となって攻守に奮闘したの菊川東中となつた。

準決勝は、どちらもPK戦にもつれ込む好ゲームとなったが、桜が丘中と掛川東中が勝利し、予選でも戦った2チームの決勝となつた。

決勝戦は、共に多くのチャンスを作りだし、最後まで勝負の行方のわからない好ゲームとなった。桜が丘中が先制したが、どちらも多くの見せ場を作った。掛川東中は最後まであきらめない姿勢を見せたが、桜が丘中の粘り強い守備を最後まで崩せず試合終了。桜が丘中が小笠の頂点に輝いた。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 三浦 聰士

長いようで短かった3年間を振り返ると、「自分たちはたくさんの人々に支えられてサッカーができていた」ということに気付き、感謝の気持ちがこみ上げてきました。

技術面や精神面を時には厳しく、時には優しく鍛えてくれた先生方。朝早く起きてお弁当を作ってくれたり、遠くの試合会場まで送ってくれたり、雨の中でも大きな声で声援を送り続けてくれたりしたお父さん、お母さん。いつもそばで笑い合った仲間、時にはぶつかってケンカすることもあったけど、いつも仲直りして、「また、頑張って行こうぜ！」と励まし合ってきました。

みんなの支えがあったからこそ、中体連小笠大会で優勝して、県大会に出ることができました。本当にありがとうございました。

## 新人総合体育大会（北部）



大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川東

大会寸評

掛川市立北中学校 条田 翼

優勝は桜が丘中、準優勝は掛川東中であった。長短のパスを使い分けながら、グラウンドを広く使いボールを動かして攻撃を組み立てる掛川東中に対し、桜が丘中は前線から激しいプレスをかけ、ボールを奪いに行くスタイルで戦った。先制したのは掛川東中だったが、そこから自分たちのペースを取り戻した桜が丘中が3ゴールを挙げ勝利を収めた。桜が丘中は、ボールを止める・蹴るという基本技術はもちろん、ボールを奪う姿勢が最も優れていた。しかし、4校の間にフィジカル面、技術面とも大きな差はなく、試合の中でそれらをベースに特徴・個性を生かすことのできる選手育成を確実に行っていかなければならないと感じた。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 中山 巧

僕らは、夏の中体連で優勝し、県大会に出場することができたので、他のチームより新チームの始動は遅くなつた。

初戦の掛川西中戦では、最初の5分間は緊張のためか、前線からのプレッシャーがとても弱く、相手にボールをもたれる時間が多かった。途中から、前線からプレッシャーをかけ、高い位置でボールを奪うという自分たちのプレーができ2-0で勝利した。決勝戦の掛川東中戦でも、序盤から自分たちのプレーができなかつた。特に守備への責任感が低く、ピンチが続いた。しかし、仲間と声を掛け合い、少しづつペースを取り戻すと、3-1で勝利し、優勝することができた。

これから他のチームは、「打倒桜が丘」を合い言葉に、もっと強くなってくるはずである。夏の中体連で、その相手に対して勝てるように、日々の練習を頑張っていきたい。

## 新人総合体育大会（南部）



大会結果 優勝 菊川東 準優勝 御前崎

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 中山 慶介

1回戦の菊川東対浜岡の試合では、菊川東中、浜岡中の両校縦に速いスピードのある攻撃を主体とした試合運びから得点を狙う勝負となつた。前線からボールを取りに行く姿勢を見せた菊川東中が前半に2得点をした。後半には点を取り返そうと前掛かりになつた浜岡中に對し、裏のスペースを活かした攻めで追加点を入れた菊川東中が試合をものにした。菊川西と御前崎は、両チームともパス回しから攻める試合運びとなつた。共に拮抗した試合だった中が、御前崎中が1点を守り切つた。決勝戦は、両チームとも1歩も譲らない戦いだったが縦に攻め続けた菊川東中が1点をとり、優勝を果たした。

今大会を通して、スペースをタイミングよく使えることができるかが勝敗を分けた。ボールを止める、蹴る以外にもボールを持っていない OFF THE BALL の動きの向上が求められる。今後の上位の大会においての小笠地区チームの活躍を期待する。

優勝作文

菊川市立菊川東中学校 横山 浩太朗

夏の中体連が終わり、1、2年生を中心のチームになった。人数は11人になり1人も欠けることが許されない状況になつた。新チームの短期目標は、新人戦優勝。その目標を達成するために、夏休みは基礎練習を中心に少ない人数で必死に練習した。

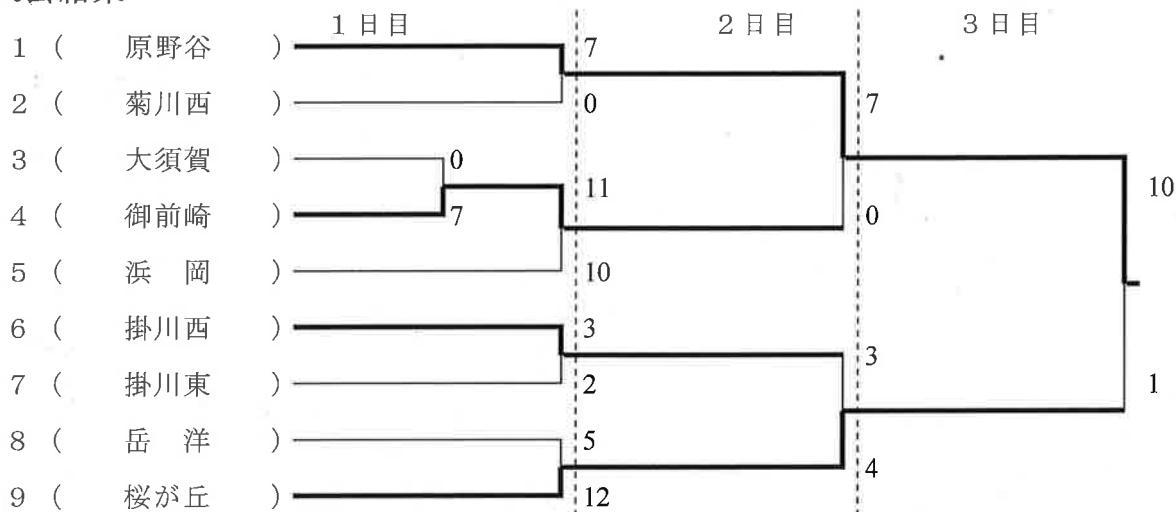
新人戦当日、初めての大会を迎えた僕たちは興奮を抑えられなかつた。そんな気持ちの中、初戦の浜岡中戦が始まつた。自分がチームの中で与えられた役割は、得点を決めることと声を出してみんなの士気を上げることだった。11人全員で声をかけながら、とても良い雰囲気でゲームを戦い、5点を奪つて勝利することができた。しかし、相手に1点を奪われてしまい勝っている中でも気を抜かない大切さを学んだ。そして迎えた御前崎中との決勝戦。接戦の中で、何とか1点をもぎ取り1-0で勝利することができた。夏休みから練習したことが結果につながり、とてもうれしかつた。

新人戦を振り返ると、夏休みから練習してきたことが少しづつ試合で出せるようになつた気がする。しかし、攻撃のパターンが少ないことや個人スキルが低いことなどまだ課題は多い。夏の中体連に向けて、この結果に満足することなくより大きな喜びを得られるよう、さらに練習に励んでいきたい。

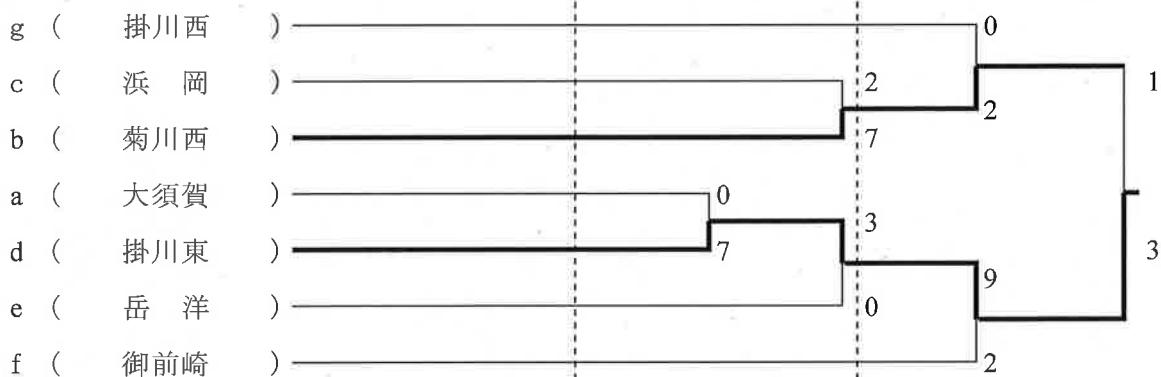
# ソフトボール

## 総合体育大会

### 大会結果



### 【県大会出場校決定戦】



優勝 原野谷 準優勝 桜が丘 3位 掛川東、菊川西

### 大会寸評

菊川市立岳洋中学校 青嶋 翔太

第1シードの原野谷中が安定した投手力と強力打線を武器に見事大会3連覇を果たした。決勝戦では点差は開いたが、第二シードの桜が丘中が武器である得点力を生かし準優勝を果たした。1回戦で掛川西中に敗れた掛川東中だったが、敗者復活のトーナメントではその実力を發揮し、緻密な戦略とチームプレーで県大会出場権を獲得した。また、県大会には一步及ばなかったが、菊川西中も最後まで諦めない粘り強さで好ゲームをした。

今大会は、接戦が多く見られた。新人戦とは比べものにならないハイレベルな試合が多く、選手達の日頃の努力が随所に見られる大会となった。

### 優勝作文

掛川市立原野谷中学校 竹下 真彩

私たち原野谷中学校のバックネットに大きく掲げられた「県制覇」の目標。私たちは、目標に向かって毎日苦しい練習を励まし合って乗り越えてきました。しかし、その前に小笠大会3連覇のプレッシャーが常にありました。私たちが入部したその年、そして翌年と小笠大会で優勝しました。先輩たちは、強く、頼もしかったです。先輩たちを尊敬し、自分たちも先輩たちのように、もっともっと強くなりたいと思っていました。そして、最後の夏。私たちの代で優勝をとぎらせてはならないというプレッシャーとどこよりも厳しい練習を乗り越えてきた私たなら、絶対に勝てるという自信の両方がありました。3年間の集大成として、1戦1戦堂々と、そして楽しんで戦った結果、見事小笠大会優勝、同時に3連覇を達成することができました。3年間の熱心な指導で、私たちをここまで成長させてくださいました先生。本当にありがとうございました。他にもコーチをはじめ、保護者の方々や地域の皆さん、本当に多くの方々に支えていただき、ここまで来れました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後、私たちは原野谷中ソフトボール部OGということに誇りをもって人生を歩んでいきます。今までありがとうございました。

## 新人総合体育大会（北部）

<リーグ戦結果>

	1 原野谷	2 掛川東	3 掛川西	4 桜が丘	勝	負	順位
1 原野谷		● 0 - 5	● 7 - 8	○ 10 - 1	1	2	3
2 掛川東	○ 5 - 0		○ 12 - 0	○ 12 - 0	3	0	1
3 掛川西	○ 8 - 7	● 0 - 12		○ 16 - 6	2	1	2
4 桜が丘	● 1 - 10	● 0 - 12	● 6 - 16		0	3	4

大会結果 優勝 掛川東 準優勝 掛川西

大会寸評

掛川市立西中学校 大石 北斗

4チームでリーグ戦を行った。新チームになり、経験が少ない中での戦いになった。1日3試合を行う日程のため、ピッチャーをできる選手の起用法が難しくなる。ピッチャーのコントロールによって試合が大きく左右された大会となった。

優勝した掛川東中は、県大会出場を果たした夏の大会でも活躍したバッテリーが球威、コントロール、配球、すべてにおいて長け、バッターを圧倒していた。2勝同士の掛川西中戦では、一人も出塁を許さず、完全試合となった。全試合失点0に抑え、見事な守りを見せた。それに加え、長打力と機動力を組み合わせた攻撃で光った。

各チーム部員が少ないという状況で練習に取り組んでいる。その中で個人の技術・勢力やチームの連係プレーを一層高める必要があると思われる。本大会ではミスにより相手に流れを渡してしまっている場面が多くあった。確実なプレーを増やし、質の高い試合を目指していきたい。

優勝作文

掛川市立東中学校 中山 留輝

夏の大会後、3年生がいない新チームでの練習がはじまりました。私たちは、「凡事徹底」を合い言葉に、活動しています。夏休みの暑い1日練習でだらけてしまう時もあったけど、「凡事徹底」を忘れぬよう細かい部分も声を掛け合ってきました。夏休みが終わるとほとんど土日は練習試合で、中には、高校生と試合をすることもあります、緊張感をもって試合をすることができました。レベルの高いプレイを見て、危機感をもち、練習に励むことができました。全員の打率や出塁率を出し、各自の成績が明確になることでさらに危機感は高まりました。

大会当日、公式戦になると不安もあり、緊張して固まってしまったが、試合を重ねるごとに楽しくプレイができました。自分達のソフトで優勝できたことが嬉しかったです。しかし、今回の優勝は通過点なので今後も頑張っていきたいです。ありがとうございました。

## 新人総合体育大会（南部）

### 【リーグ戦】

	1 浜 岡	2 御前崎	3 大須賀	4 岳 洋	5 菊川西	勝	負	順位
1 浜 岡		○24-0	○30-3	●6-7	●0-6	2	2	3
2 御前崎	●0-24		○14-2	●3-19	●2-12	1	3	4
3 大須賀	●30-3	●2-14		●3-14	●0-15	0	4	5
4 岳 洋	○7-6	○19-3	○14-3		●1-5	3	1	2
5 菊川西	○6-0	○12-2	○15-0	○5-1		4	0	1

大会結果

優 勝 菊川西

準優勝 岳 洋

3 位 浜 岡

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 青嶋 翔太

大会は5チームの総当たり戦で行われた。優勝した菊川西中は、夏の大会を経験しているバッテリーの安定感が光った。抜群の制球力でほとんどフォアボールを出すことなく、コースへの投げ分けができ、また、エンジアップも織り交ぜ打者を翻弄し、4試合で3失点というピッチングで他のチームを押さえ込んだ。岳洋中は、バントなどの小技を中心とした攻めで相手チームにプレッシャーをかけ、連携の取れた守備で準優勝を果たした。3位の浜岡中は、持ち前の攻撃力を生かし大量得点を重ねた。岳洋中との試合では、僅差で敗れたが、一歩も譲らない激しい試合となった。

どのチームも、点差が離れても最後まで元気よくプレーする姿が見られた。しかし、他の地区と比べて、全体的にまだまだ力が落ちる。小学校からの経験者が多いチームと対等に戦うためには、まずは基礎的な練習が重要になってくると考えられる。練習試合や合同練習などを通して互いに刺激し合い、小笠地区の力を上げていきたい。また、部員が9名に満たないチームがあるため、新年度以降、多くの部員を加入させ、活気のある夏の大会を迎えるようになることを願っている。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 大橋 里音

4月に顧問の先生が変わりました。また、夏の中体連が終わって3年生が抜け、様々な変化の中で新チームになりました。新チームはまとまらない事もあり、どうすればいいのかわからなくなる事もありました。そんな時に先生からミーティングで、「本当に勝ちたいか。負けて悔しくないのか。」と言われました。その言葉を受け止めてから、チーム全員の気持ちが良い方向に向かっていきました。また、新たな目標に向かって練習に励むことができました。そのおかげで、今回優勝という結果を得ることができました。支えてくれたたくさんの方々に感謝し、新人戦県大会出場を決めて恩返しを必ずします。応援ありがとうございました。

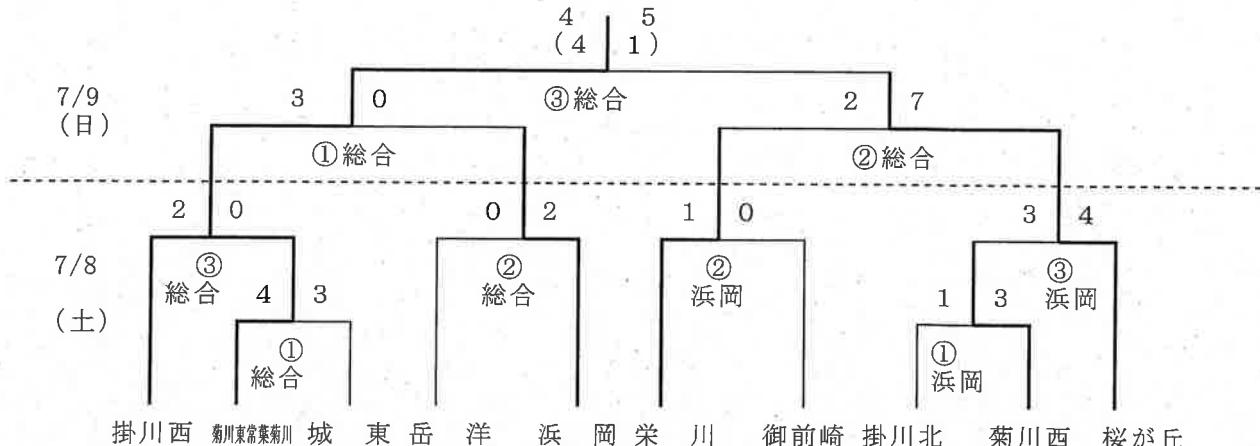
# 軟式野球

## 総合体育大会

1 予選トーナメント・リーグ戦 7/1(土)

グループ	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
A	菊川西 8 - 0 大浜	掛川西 3 - 1 岳洋	掛川西 3 - 2 菊川西	岳洋 3 - 1 大浜
B	桜が丘 4 - 0 御前崎	菊川東常葉菊川 8 - 1 原野谷	桜が丘 3 - 2 菊川東常葉菊川	御前崎 7 - 3 原野谷
C	城東 2 - 2 大須賀特別 (8 - 2)	栄川 6 - 1 城東	栄川 3 - 3 大須賀特別 (3 - 1)	
D	浜岡 1 - 0 掛川東	浜岡 2 - 1 掛川北	掛川北 2 - 1 掛川東	

2 決勝トーナメント



大会結果 優勝 掛川西 準優勝 桜が丘 3位 浜岡、栄川

### 大会寸評

学校組合立御前崎中学校 平野 公一

本大会は、僅差で勝敗が決する試合が多く、最終回まで緊迫した展開が続く試合が多くありました。その中でも、優勝した掛川西中は、安定した守備で試合の流れをつくり、好機に畳み掛ける攻撃で、優勝を手にしました。準優勝の桜が丘中は、積極的な打撃で高い攻撃力を発揮しました。また、両チームともに、劣勢になっても終盤まで粘り強く戦う姿が光った。全体を通して、本大会はエース投手だけでなく、2番手の投手の活躍が見られる試合が多くありました。先発能力をもち、試合をつくれる投手がチームに2人以上いることが、夏の大会を勝ち上がるのに重要であると言える。また、相手の打線の特徴を分析した上で投手を効果的に起用することも、大会を勝ち抜くポイントとなつた。

### 優勝作文

掛川市立西中学校 平野 幸太

大会前、僕たちは先生から「声を出して自らを奮い立たせることが必要だ」と言われました。確かに僕たちは、自分たちのミスからピンチを招き、ヒットを打たれ、そしてチーム全体の雰囲気が悪くなつて負けるというパターンを繰り返してきました。

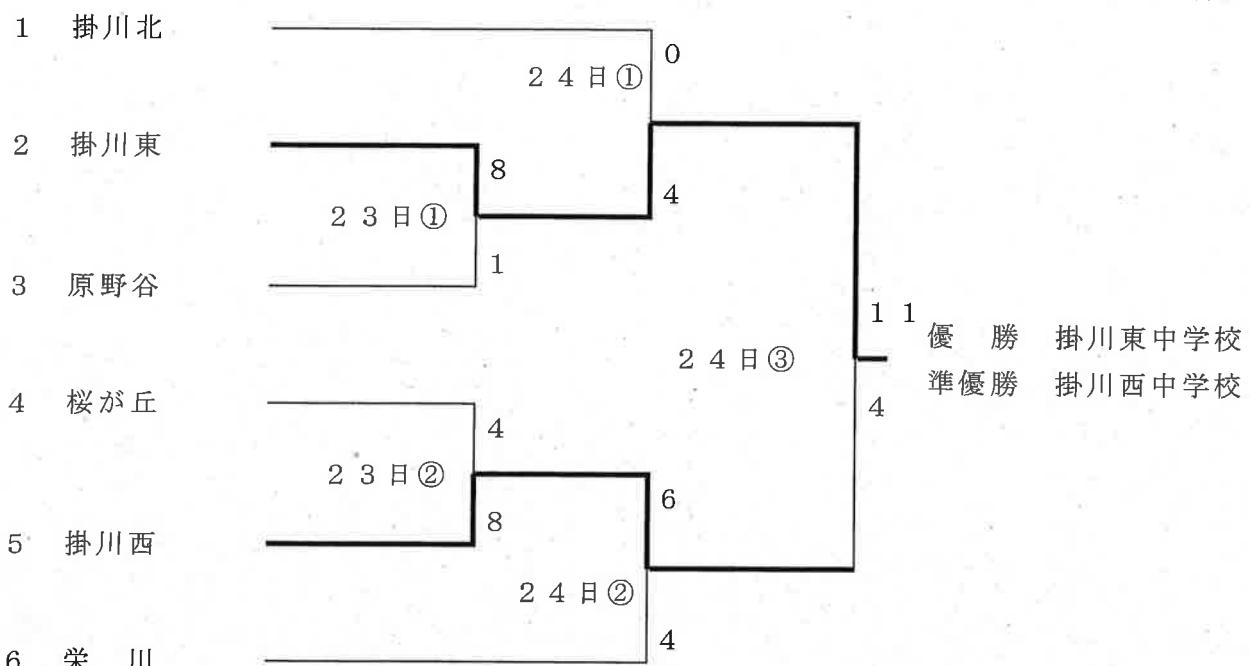
そんな僕たちが変わるきっかけとなつた試合があります。それは、小笠中体連大会の予選トーナメントの菊川西中戦です。菊川西中は、SBS県大会でベスト4に入っている強豪校で、僕たちは4月の小笠ペナントレースでの対戦でも5月の福田大会準決勝でもコールド負けをしている相手でした。しかし、今回の対戦では、僕たちは2点リードされた6回裏に5番打者の2点タイムリーをヒットなどで逆転し、最終回、ツーアウトから三塁打を打たれるも最後はショートゴロに押されて勝つことができました。

僕たちはこの試合で、点を取られても崩れない粘り強い守備、チャンスで打てる打撃、試合をあきらめない強い気持ちの3つを得ることができました。その後の決勝トーナメント2回戦をノーヒットノーラン、準決勝を完封で勝ち、決勝戦では最終回に0対4から4点を取り同点に追いついた後、延長特別ルールで4点とて2点に抑えて8対6で優勝を果たしました。

僕は、小笠中体連大会を戦う中で、チームとして大きく成長することができたと思います。顧問の先生や支えてくれた保護者の方々へ感謝の気持ちを胸に、県大会、東海大会、全国大会へと勝ち進んでいきたいです。

## 新人総合体育大会（北部）

9月23日（土）24日（日）会場：大東総合球場



### 大会結果

優勝 掛川東    準優勝 掛川西

### 大会寸評

掛川市立栄川中学校 吉田 順平

今大会は、どのチームにも小笠地区を代表する力のある選手がおり、攻守共に高いレベルの戦いが予想された。初戦は、前チームから試合経験を重ねていた掛川西中、掛川東中が安定した試合運びで勝利を収めた。また、掛川東中は、追い込まれても簡単には打ち取られない確実性の高い打撃と力強いストレートを投げ込むエース相田君の活躍で見事に大会2連覇を達成した。準優勝した掛川西中も、力強いスイングと切れ目のない打線を武器に長打を放ち打撃戦を制する活躍をみせ、準優勝の成績を収めた。

今後、小笠地区のチームが上位大会で結果を残すためには、ワンプレーで勝敗が左右されることを理解し、ここ一番で迷いなく戦えるメンタリティーの強化が必要となる。2年ぶりの西部大会優勝を達成するためにも代表チームの成長に期待したい。

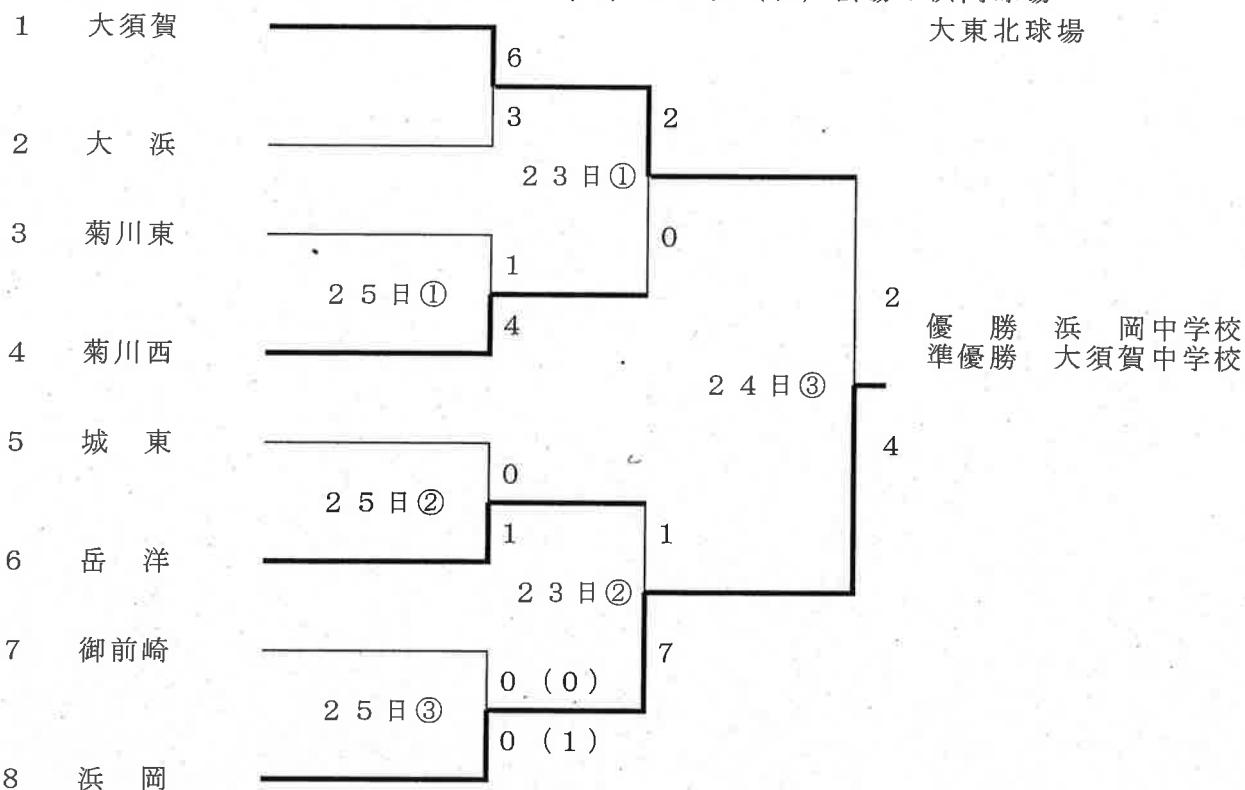
### 優勝作文

掛川市立東中学校 堀場 大夢

僕たちは、新チームとなってから初めての公式戦である新人戦で優勝することができました。二年生の中には、去年から試合に出て、たくさんの経験を積ませてもらっている選手もいます。この夏は、今年の中体連で味わった悔しさを糧に、基本的なプレーから見直して練習をしてきました。練習試合では、勝ち負けにこだわるのではなく、試合の中身や、その試合から得たものがあったかを考えるようにと、先生から毎試合のように言われ続けてきました。その結果、試合の中で自分が何をするべきかを考えてプレーする選手が増えてきました。大会の中では、打線がつながって自分たちのペースで試合を運べたことが多かったです。しかし、打線がつながらないときにどうやって勝つかが僕たちの課題です。ランナーを進めるバッティングやバント、ヒットエンドランの技術を高めていきたいです。また、西部大会では小笠地区の代表として出場していることに使命感をもって、普段の学校生活から、部活動の内容、野球のプレーまで、代表の名に恥じぬような取り組みをしていきたいです。

## 新人総合体育大会（南部）

9月23日（土）24日（日）会場：浜岡球場



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 大須賀 3位 菊川西、岳洋

大会寸評

学校組合立御前崎中学校 平野 公一

優勝した浜岡中は、安定した守りから試合の流れをつかんだ。投手陣がコントロール良く投球し、四死球を少なく抑えたことが勝利の大きな要因となった。攻撃でも細かなプレーを確実に決め、少ないチャンスをものにした。準優勝の大須賀中は、どの選手もフットワークがよく、選手の潜在能力の高さを感じさせる戦いぶりであった。

本大会はどのチームも新人戦としては、守備の安定感が光る試合が多かった。今後は、その安定した守備を崩す打撃や、サインプレーなど、攻撃面でのレベルアップが勝利への鍵となる。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 横林 奨

僕たちは、「最後まで自分たちの野球をやり切ろう」という意思をもって新人戦南部大会に臨みました。新チームになったときから心がけてきた『基礎を大切にすること』や『仲間との連携』をこの大会でも自分たちなりにやり通せた思っています。特に、初戦の御前崎中学校との試合では、この2つを発揮できたばかりか、たとえ打てなくとも守りから流れを引き寄せられる、負けなければ勝てると強く信じ勝つことができました。とても大きな経験となりました。そして、大会という雰囲気の中で合計3試合も戦うことができたことで、僕たちは確実に成長することができたはずです。

しかし、一方で、今になってもまだ「新人戦南部大会を制した」という実感が湧いてきていません。それは、僕たちがまだまだ未熟であるからだと思っています。だから、これからも基礎基本を大切にしながら、チーム全員でレベルアップしていけるように、前向きに練習していきたいと思います。

# ソフトテニス

## 総合体育大会（男子） 団体戦 <予選リーグ>

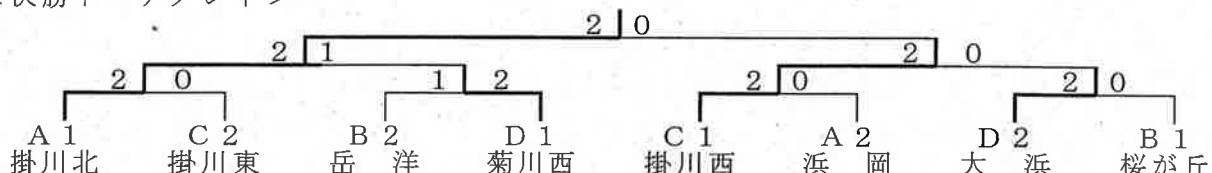
A	掛川北	浜岡	城東	順位
掛川北		③	③	1
浜岡	0		②	2
城東	0	1		3

B	桜が丘	岳 洋	菊川東	順位
桜が丘		1	②	1
岳 洋	②		1	2
菊川東	1	②		3

C	掛川西	御前崎	掛川東	順位
掛川西		③	③	1
御前崎	0		1	3
掛川東	0	②		2

D	原野谷	菊川西	大浜	順位
原野谷		1	1	3
菊川西	②		③	1
大浜	②	0		2

## 〈決勝トーナメント〉



大会結果 優勝 掛川北 準優勝 掛川西 3位 菊川西、大浜

個人戦	優 勝 松井・鈴木 (掛川西)	準優勝 中村・戸田 (掛川西)
3 位 田垣・大西 (掛川北)	4 位 佐藤圭・川口 (掛川北)	
5 位 杉田・武藤 (菊川西)	6 位 村田・山中 (掛川北)	
7 位 石川・山崎 (桜が丘)	8 位 浦海・松崎 (城東)	

大会寸評

掛川市立西中学校 大倉佑太郎

優勝作文

掛川市立北中学校 山中 太空

つる技巧などにならぬ面で、長時間の執念も必要である。そこで、重要な勝負には、必ず「弱い」が登場する。つまり、弱いが勝つには、必ず「強さ」がある。つまり、弱いが勝つには、必ず「強さ」がある。つまり、弱いが勝つには、必ず「強さ」がある。

# 総合体育大会（女子）

## 大会結果

### 団体戦 <予選リーグ>

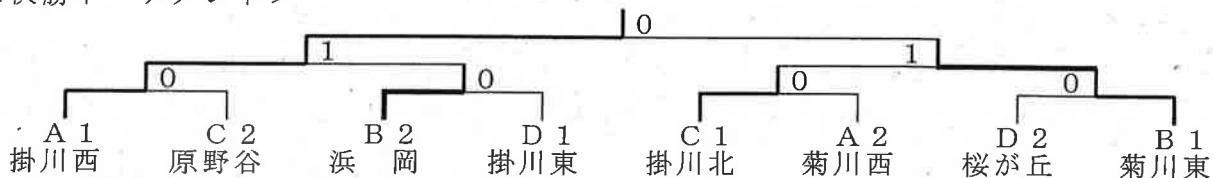
A	掛川西	菊川西	岳 洋	順位
掛川西		②	③	1
桜が丘	1		②	2
城 東	0	0		3

B	浜 岡	菊川東	御前崎	順位
浜 岡		1	③	2
菊川東	②		③	1
御前崎	0	0		3

C	掛川北	大須賀	原野谷	順位
掛川北		②	②	1
大須賀	1		1	3
原野谷	1	②		2

D	桜が丘	掛川東	城 東	順位
桜が丘		0	③	2
掛川東	③		②	1
城 東	0	1		3

### <決勝トーナメント>



大会結果 優 勝 掛川西 準優勝 菊川東 3 位 浜 岡、掛川北

個人戦	優 勝 朝比奈・麻布 (掛川西)	準優勝 岡部・鈴木 (掛川西)
	3 位 瀬崎・吉繁 (掛川北)	4 位 遠藤・沖 (浜 岡)
	5 位 朝比奈・松本 (浜 岡)	6 位 平原・長尾 (浜 岡)
	7 位 松井・北山 (菊川東)	8 位 大川原・宮崎 (掛川西)

### 大会寸評

掛川市立西中学校 中山 竜彰

今年度は天候にも恵まれ、各校の先生方や選手の進行への協力のお陰で、円滑に大会を終えられた。団体戦では、掛川西中が持ち前の攻撃的なストロークと堅実なプレーで決勝まで勝ち上がった。決勝戦でも高い技術力と強い精神力を發揮し、優勝した。菊川東中は、前衛の積極的なプレーと後衛の粘り強いストロークで、決勝戦まで勝ち上がった。今年度も予選から緊迫したゲームが繰り広げられた。また、各学校で仲間を一生懸命応援する姿が見られ、非常に良い雰囲気の大会となつた。個人戦では掛川西中朝比奈・麻布ペアが攻撃的なストロークを主体とし、決勝戦まで駒を進めた。後衛が好機を演出し、前衛が確実に決める盤石な試合運びで、優勝した。掛川北中と浜岡中のペアも日々の練習やこれまでの練習試合等の成果を存分に發揮し、県大会出場を果たした。

団体戦個人戦とともに、多くの選手が一生懸命戦う姿勢を見せて素晴らしい大会となった。応援の態度も非常によく、中学生らしい良い雰囲気の大会となつたことでも喜ばしい。県大会では東海大会出場には至らなかつたものの、小笠の実力を大いに發揮して、県大会でもり小笠代表選手として健闘した。来年度に向け、さらに上の大会を目指して小笠全体を盛り上げていきたい。最後に、大会を運営するにあたり、役員の先生方、各校の先生方、選手、応援に駆けつけた生徒の皆さん、日々の練習をバックアップしてくれた保護者の方々、そして本部運営の掛川西中をはじめ、多くの生徒の協力で無事終えることができた。ありがとうございました。

### 優勝作文

掛川市立西中学校 朝比奈 佳波

このメンバーで掴み取った優勝。私たちは先輩に憧れ、小笠地区優勝、県大会出場を目指して頑張ってきました。3年生は全員テニス未経験なので、日々の練習や夜の自主練習を重ね、技術を少しでも身に付けられるように努力しました。試合中に納得のいくプレーができず、何度も涙を流しました。しかし、そんな時に支えてくれたのは仲間でした。ここまで私たちが一生懸命テニスに打ち込むことができたのは、時に厳しく指導してくれた先生、楽しくそして熱心に指導してくれたコーチ、送迎や試合の応援をしてくれた家族のお陰です。二年間を振り返ってみると、私たちを見守ってくれたり支えてくれたりする人がたくさんいました。感謝の気持ちを優勝という形で返すことができ、嬉しく思います。私たちにとって最高の思い出になりました。

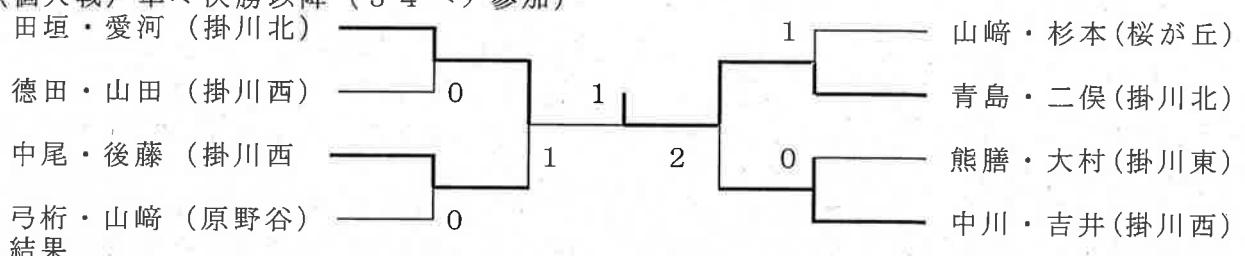
## 新人総合体育大会（北部男子）

(団体戦)

	原野谷	桜が丘	掛川北	掛川西	掛川東	勝	負	順位
原野谷	1	0	0	0	0	0	4	5
桜が丘	②		0	1	②	2	2	3
掛川北	③	③		1	③	3	1	2
掛川西	③	②	②		③	4	0	1
掛川東	③	1	0	0		1	3	4

大会結果 優勝 掛川西 準優勝 掛川北 3位 桜が丘

(個人戦) 準々決勝以降 (34ペア参加)



結果

優勝	青島・二俣 (掛川北)	準優勝	田垣・愛河 (掛川北)	3位	中川・吉井 (掛川西)
4位	中尾・後藤 (掛川西)	5位	徳田・山田 (掛川西)	6位	熊膳・大村 (掛川東)
7位	山崎・杉本 (桜が丘)	8位	弓桁・山崎 (原野谷)		

大会寸評

掛川市立西中学校 大倉 佑太郎

団体戦当日は、前日の雨が若干残り朝の段階でコートに水が浮いている状態であったが、各校の生徒がコート整備を行ってくれ開始時刻に無事開催することができた。

今大会も選手、応援ともにマナーがよく気持ちはよく大会を進めることができた。団体戦では、掛川西中が初戦で優勝候補の掛川北中を破り、勢いそのままに全勝して優勝した。

個人戦では、安定したストロークをもつ掛川北中が危なげなく勝ち上がり優勝、準優勝を飾った。団体優勝の掛川西中は、ミスを恐れない果敢なプレーで勝ち上がり、3, 4, 5位に入賞した。桜が丘中、掛川東中、原野谷中も意地をみせ、各校1ペアずつ8位入賞を果たした。例年に比べ各校の力は拮抗しており、夏の大会に向けて非常に楽しみである。

全体的な課題点は、精神面であると思われる。ミスが続いたり、失点が続いたりしたときに、ラケットやボールにあたったり、ペア間の雰囲気を崩したりする選手がいた。今後テニスの技術だけでなく精神面の成長も必要である。

大会を運営するにあたり、会場のいこいの広場、競技別会長の掛川西中の校長先生、また、救護にあたっていただいた同校の養護教諭の先生、各校の生徒や顧問の先生、保護者の方々の協力の元、大会を無事終了できることに感謝します。

優勝作文

掛川市立西中学校 後藤 将太

三年生が夏に引退し、僕たちの代に引き継がれました。僕たちは、3年生に比べたら実力も全然ありませんでした。だから僕たちは声を出して練習するようにしました。しかし、声を出すのは一部の練習、一部の人だけで長くは続きませんでした。そのままの練習が続き、ついにはほとんどが声を出さないようになりました。やがて時間が経っていき、ふたつの大会がありました。どちらも良い成績ではありませんでした。新人戦の一週間前によく僕たちは危機感を覚え、声をすべての練習で全員が出るようにし、失敗したらなぜ失敗したのかを一球一球考えるようになりました。それからは、部活の雰囲気が変わり実のある練習ができるようになりました。

この一週間での練習が勝ちに結びついたのだと思います。これからは、さらに一人一人の気持ちを高め練習に取り組んでいきたいです。

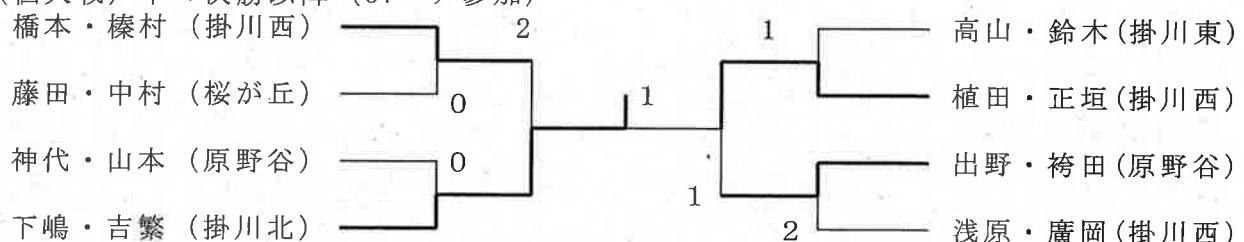
## 新人総合体育大会（北部女子）

(団体戦)

	掛川西	掛川北	原野谷	掛川東	桜が丘	勝ち	負け	得失	順位
掛川西		③	③	②	③	4	0		1
掛川北	0		1	1	1	0	4		5
原野谷	0	②		②	0	2	2	-2	4
掛川東	1	②	1		②	2	2	0	3
桜が丘	0	②	③	1		2	2	+2	2

大会結果 優勝 掛川西 準優勝 桜が丘 3位 掛川東

(個人戦) 準々決勝以降 (37ペア参加)



優勝 下嶋・吉繁 (掛川北)	準優勝 植田・正垣 (掛川西)	3位 橋本・榛村 (掛川西)
4位 出野・袴田 (原野谷)	5位 浅原・廣岡 (掛川西)	6位 藤田・中村 (桜が丘)
7位 神代・山本 (原野谷)	8位 高山・鈴木 (掛川東)	

大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 田辺 恵理

団体戦は雨天により、遅延しての開催であったが、会場校の先生方や運営の先生方の御協力により運営がスムーズにできた。掛川西中は、選手のねばり強く安定したプレーで、見事団体戦全勝優勝を果たした。個人戦では、掛川西中が試合を優位に進めたが、どの学校も1ペア以上はベスト8に入るなど、校内戦では見られない白熱した試合を見ることができた。また、下嶋・吉繁ペアの力強いストロークや積極的なボレーは、他の選手へも良い刺激を与えるものであった。全体的な課題点は、後衛のストローク力、前衛の積極的なプレー力の低さである。単純なミスでポイントを失うのではなく、後衛や前衛の活躍でポイントを得るようなゲーム展開ができるように、技術向上を期待する。

大会を運営するにあたり、会場準備に協力してくれた各校の生徒、本部運営の桜が丘中生徒、各校の顧問の先生、保護者の方々のお陰で、大会を無事終了できましたことに感謝します。

優勝作文

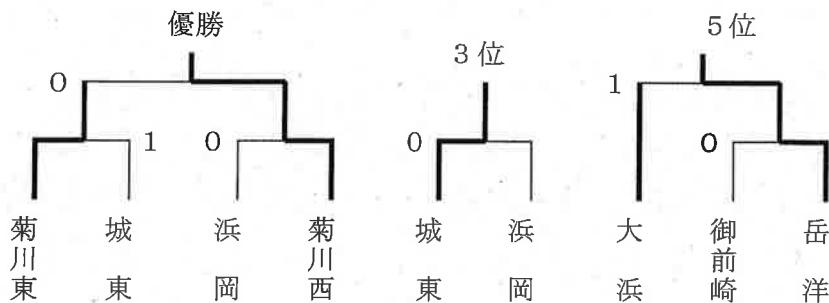
掛川市立西中学校 正垣 花菜

私たち、西中学校ソフトテニス部は、未経験者の多いメンバーです。そんな私たちが新人戦で優勝できたのは、先輩たちの存在と、毎日の練習の積み重ねとしか言えません。うまくいかないときは、仲間と教え合い、声を掛け合ってきました。チームとしては、時間を大切にすることや、集中力を切らさない、声を出して良い雰囲気作りをすることを心掛けました。

私たちは、東海大会を目指しています。これまで以上に集中力と精神面を鍛え、チーム一丸となって練習に取り組んできます。そして、支えてくれた家族、ご指導頂いた先生やコーチに感謝の心を忘れずに、これからも日々の練習に取り組んでいきます。

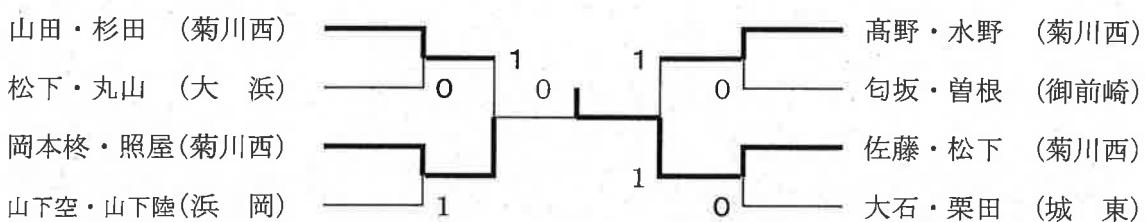
## 新人総合体育大会（南部男子）

(団体戦)



大会結果 優勝 菊川西 準優勝 菊川東 3位 城東

(個人戦) 準々決勝以降 (49ペア参加)



大会結果

優勝 佐藤・松下 (菊川西)	準優勝 岡本柊・照屋 (菊川西)	3位 高野・水野 (菊川西)
4位 山田・杉田 (菊川西)	5位 勾坂・曾根 (御前崎)	6位 山下空・山下陸 (浜岡)
7位 大石・栗田 (城東)	8位 松下・丸山 (大浜)	

大会寸評

掛川市立大浜中学校 山本 高裕

団体戦、個人戦ともに秋晴れの空のもと、予定通りの日程で開催ができた。

今年の新人戦も、昨年に引き続き菊川西中が上位を席巻する結果となった。特に個人戦では準決勝以降を一校で独占し、現時点での圧倒的な力の差を見せた。昨年度から活躍していた2年生に加え、積極性やエネルギーに溢れた1年生が加入し、層の厚さが増した。今後は当分どの学校も、打倒菊川西中を目指していくことになるだろう。

新人戦を終えて、どのチームにも共通の課題が見えた。それは精神的な弱さである。ソフトテニスは2点連続で失点しなければ決して負けないスポーツである。そのため、失点の後、ミスの後の切り替えがとても重要である。しかし、多くのペアがミスを引きずり、後のプレーに悪影響を及ぼしてしまっている。ペアの間でのポジティブな声かけを含め、一人一人の精神面の強化は必須である。

どの選手も、新人戦の結果を糧として、上位大会を目標に、より一層の研鑽を期待したい。

各校顧問の先生方、会場準備をしてくれた城東中、本部補助の大浜中の生徒、応援の保護者の皆様の協力でスムーズに運営できたことに心から感謝したい。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 高野 翔帆

夏の中体連団体戦、3年生の先輩が戦った。「こんな先輩見たことない」そのぐらいかっこよかったです。しかし、みんなの目から涙がこぼれた。悔しかった。本当に悔しかった。

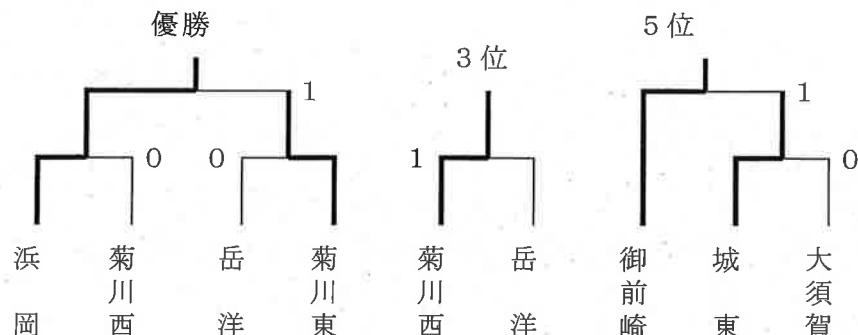
そして、僕たちの代がきた。先輩たちの悔しさを胸に、本気で練習に取り組んだ。最初は、先生に怒られてばかりで、「もう、いやだ」と思う時もあった。でも、そんな時こそ先輩たちの悔し涙を思い出し、本気でやろうと思った。

迎えた大会本番。チームで戦った団体戦。楽な試合は一つもなかった。厳しい試合を乗り越えて優勝カップを手に入れた。本当にうれしかった。応援してくれた仲間を含めて、テニス部全員でとった優勝だと思った。

中体連まであと1年。ひとつひとつを大切に練習を重ねて、チーム全員で、もう一度挑戦したい。

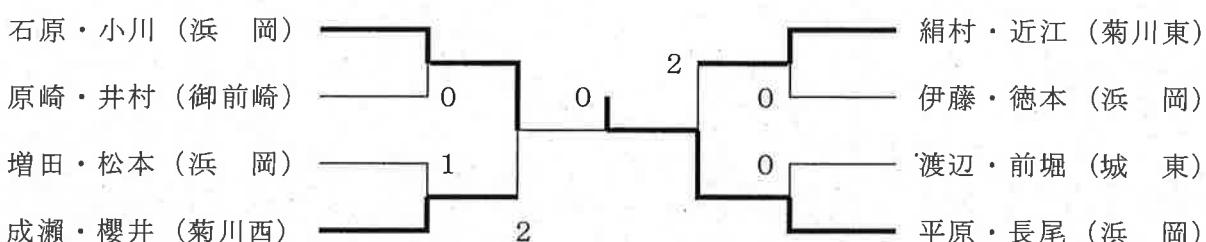
## 新人総合体育大会（南部女子）

(団体戦)



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 菊川東 3位 菊川西

(個人戦) 準々決勝以降 (50ペア参加)



大会結果

優勝	平原・長尾(浜岡)	準優勝	石原・小川(浜岡)	3位	絹村・近江(菊川東)
4位	成瀬・櫻井(菊川西)	5位	増田・松本(浜岡)	6位	渡辺・前堀(城東)
7位	原崎・井村(御前崎)	8位	伊藤・徳本(浜岡)		

大会寸評

掛川市立大須賀中学校 川中 瑞貴

今大会は、天候による多少の遅延はあったが、個人戦・団体戦共に、会場校の生徒、先生方、運営の先生方のご協力により、スムーズな運営ができた。団体戦では、浜岡中が、勝負所での強さを見せ、見事優勝した。菊川東中も練習の成果を發揮し、堅実なプレーで準優勝の結果を残した。個人戦では、平原・長尾ペア（浜岡中）が、安定したストローク力と相手の動きをよく読んだ積極的な攻めで、優勝を果たした。全体を通して、生徒達の行動が素早く、選手としての意識の高さを感じた。一方課題は、サーブレシーブ等の簡単なミスの改善や審判技術である。後衛のストローク力の向上と、前衛のポジショニングとボレー・スマッシュの技術向上を期待する。

大会を運営するにあたり、顧問の先生方、会場準備の菊川西中、本部補助の大須賀中の生徒、保護者の皆様に感謝申し上げます。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 長尾 星来

夏の大会が終わり、頼りにしていた先輩方が引退してから、私たちはこの大会の優勝に向けて真剣に努力してきました。私は部長として、チームのために何ができるか、どんなチームにしたら良いか考えて行動してきました。

全員で意識していることは、声出しや移動時に走るなど、試合に直結しそうもないことです。サーブを速くするとか、レシーブを確実にするとか、技術面ではありません。細かいことだけれど、大切にすべきだと全員が考えました。そしてそれらをきちんとやることで、最終的には勝利につながっていくと考えています。しかし、意識することが細かすぎて、うまくいかない日もあります。きちんとできない仲間と言い合いになったりもします。そんな時も、これを乗り越えることでもっと良いチームになれる信じて、声を掛け続けています。勝つことも大事ですが、「一人一人の心の成長、一人一人の努力が応援してくれる人に伝わる。」そんな浜中女子テニス部を目指して、これからも真剣に部活動に取り組んでいきたいと思います。

# 剣道

## 総合体育大会

### 男子団体戦

<予選リーグ> A : 1位 御前崎 2位 大須賀  
B : 1位 岳 洋 2位 浜 岡

(決勝リーグ)

学校名	スコア	学校名
御前崎	3   0	大須賀
御前崎	3   2	岳 洋
御前崎	5   0	浜 岡

学校名	スコア	学校名
大須賀	3   1	岳 洋
大須賀	3   2	浜 岡
岳 洋	2   1	浜 岡

大会結果 優勝 御前崎 準優勝 大須賀 3位 岳 洋

### 女子団体戦

<予選リーグ> A : 1位 御前崎 2位 菊川東  
B : 1位 浜 岡 2位 岳 洋

(決勝リーグ)

学校名	スコア	学校名
御前崎	5   0	菊川東
御前崎	3   0	浜 岡
御前崎	5   0	岳 洋

学校名	スコア	学校名
浜 岡	4   1	菊川東
浜 岡	3   2	岳 洋
岳 洋	3   2	菊川東

大会結果 優勝 御前崎 準優勝 浜 岡 3位 岳 洋

### 個人戦

大会結果 (男子) 優勝 矢野 洸斗 (御前崎) 準優勝 大石 聖也 (大須賀)  
3位 斎田 篤季 (浜 岡) 3位 小柳津裕仁 (大須賀)

大会結果 (女子) 優勝 松井 美知 (御前崎) 準優勝 清水 彩 (御前崎)  
3位 小塚佑里奈 (御前崎) 3位 酒井 希 (大須賀)

## 大会寸評

菊川市立菊川西中学校 山下 翔市

中学三年生にとって最後の大会。どの中学校も冬場は剣道における基礎を鍛え、春からは技を更に磨きこの日に備えてきた。

男子は県大会出場枠が一つ、女子は二つの狭き門である。その中で、御前崎中学校が1つ抜けていて他の中学校が打倒御前崎中（＝県大会出場）を目標に稽古を重ねてきた。予選リーグから気迫のこもった発声、緊張感のある剣先の攻め、力強い打ちなど見られ、とても見応えのある試合が展開された。各予選リーグの上位二校が進む決勝リーグでは県大会出場が決まることがあって更に緊迫した試合が見られた。その中でも、やはり御前崎中が、思い切った打ちで、見事に男女優勝を果たした。

一日を通して選手のマナーが非常に良く、開閉会式の整然とした姿、顧問および審判員への素直な受け答えができている姿が見られた。剣道を通して技術の向上だけでなく、心も鍛えられていると改めて感じることが出来た。

### 優勝作文（男子）

学校組合立御前崎中学校 矢野 洸斗

去年、2年生チームだった僕たちは、御前崎中学校の体育館で、あと一歩の所で負けてしまった。先輩たちが築き上げてきた連覇が途切れてしまい、悔しさだけが残った。しかし、この悔しさが僕たちの力となり、新人戦では優勝することができた。そして今年の小笠中学校総合体育大会、会場は御前崎中学校。1年前に忘れてきた「優勝旗」を、絶対に取るという気持ちで挑んだ。

接戦もあったが、一戦一戦、チームでつないで「優勝旗」を掴むことができた。そしてまた、連覇への道が始まった。この小笠大会で戦った人たちの思いを背負って、「小笠の代表」として県大会を戦いたい。

### 優勝作文（女子）

学校組合立御前崎中学校 清水 彩

「静岡県NO.1」私たちの目標だ。この目標を達成するためにはまず、小笠地区で勝たなければいけない。私たちは毎日厳しい稽古をしてきた。何度も壁にぶつかった。それでもここまでがんばれたのは、仲間がいたからだ。個人の力が弱い私たちは、チームで「つなげる」ことを意識してきた。最初は、なかなか「つなげる」ことができなかつた。それでも先生方にアドバイスをいただきたり、何度も話し合ったりして、チームワークが生まれ、自然と「つなげる」ことができるようになった。「仲間を信じて、自分を信じて」戦ったからこそ掴み取ることができた優勝。でも、私たちはまだ満足はしていない。今はスタートラインに立てただけ。本当の戦いはこれからだ。今まで通りのつなぐ剣道で、この仲間で、「県の頂」に立ちたいと思う。

## 新人総合体育大会

男子団体戦（7校リーグ戦）

優勝	<b>大須賀中</b> 6勝
第2位	<b>御前崎中</b> 5勝1敗
第3位	<b>大浜中</b> 4勝2敗

女子団体戦（5校リーグ戦）

優勝	<b>浜岡中</b> 4勝
第2位	<b>大浜中</b> 2勝1敗1分
第3位	<b>岳洋中</b> 2勝1敗1分

個人戦

大会結果（男子） 優勝 小柳津裕仁（大須賀） 準優勝 大石 聖也（大須賀）  
3位 林 紘正（大須賀） 3位 平松 和冬（桜ヶ丘）

大会結果（女子） 優勝 宮島 芽生（御前崎） 準優勝 伊藤 鈴（御前崎）  
3位 鈴木 友理（岳洋） 3位 佐藤奈菜子（岳洋）

大会寸評

菊川市立菊川西中学校 山下 翔市

中学3年生が引退し、2年生が中心に活動する中での初めての公式戦。中学1年生から剣道を始めた生徒も選手となり試合に出場していた。

男子は、大須賀中が夏の中体連と同じメンバーで出場していたため、ほぼ一強状態だった。攻めの強さ、技術、竹刀のスピード全てが他の中学校を上回っていた。

女子は、団体戦出場校5校での試合だった。小学校からの経験者も多く、かつ5人メンバーがそろっている浜岡中が優勝した。

全体的に、発声の声を大きくすること、初心者に対しては試合における所作を覚えることが課題である。また、審判長の先生から、「負けて涙が出るほど悔しくなるといい」という話があり、負けたときに悔しくなるためにも普段の練習から本気で取り組む経験を生徒にさせていきたいと改めて感じた。

優勝作文（男子）

掛川市立大須賀中学校 林 紘正

今年の夏、僕たちは負けた。1年間、先輩と3人で頑張って、1年生が入って6人になりました。全力でやつてきた。しかし、優勝という目標を達成することはできなかった。ただ、ただ悔しかった。次こそは、新人戦こそは、絶対に優勝する。チーム全員の思いを1つにして、夏の熱い稽古に全力で取り組んだ。つらい時、嫌になりそうな時は、あの日の悔しさを思い出して、全員で乗り越えた。

そして迎えた本番。大須賀中は、6戦全勝で12年ぶりに新人戦優勝、羽賀杯への出場が決定した。夏、頑張ってきたことが結果として表れ、すごく嬉しかった。しかし、僕たちは、スタートラインに立てただけに過ぎない。本当の戦いはこれからだ。来年の夏も、必ず優勝を勝ち取るために、これから全ての稽古、試合に全力で取り組み、全てを糧としていく。そして、来年の夏もチーム一丸となって優勝を勝ち取る。

優勝作文（女子）

御前崎市立浜岡中学校 齋田 和奏

小笠地区団体優勝。これを目標に私たちは頑張ってきた。実際、優勝することはできましたが、私たちの最終目標の「夏の中体連 東海大会出場」には、まだまだ遠い道のりだと思う。なぜなら、まだ一人ひとりの力が出し切れていないと思ったからだ。声、気迫、全てにおいてだ。しかも個人戦では上位進出者は誰一人いない。だから私は優勝はできても、全く満足していない。満足する試合をするには、相手より努力をすることだ。技の習得はもちろん、スピード、体力、精神力、これらを他チームよりも身に付けなくてはならない。でも、どんなに時間がかかるても、苦しい稽古でも、仲間と一緒に頑張りたい。その積み重ねた努力が、夏の大会に堂々と臨める自信になるはずだ。

簡単に満足することなく、常に高い目標に向かって努力できるチームを作りたいと思う。今ここにいる「大切」な仲間たちと共に、一日一日を大切にし、「夏の中体連 東海大会出場」を目標で終わらせらず、結果として残したい。

# 水泳

## 総合体育大会

大会結果	【男 子】	優 勝 掛川西	準優勝 掛川東
	【女 子】	優 勝 掛川西	準優勝 掛川東

## 大会寸評

掛川市立東中学校 伊藤 卓哉

今年度の大会で、女子 50m 自由形で新記録が樹立されました。掛川東中 2 年生の寺下凜さんは、これまでの記録を 0.56 秒縮める 28 秒 95 という記録を打ち立てました。

また、多くの選手が自己ベストを記録するとともに、西部大会や県大会の標準記録を打ち破り上位大会に駒を進め、小笠地区の代表選手として精一杯の泳ぎを披露しました。

今年度は、中学校の部活動だけで水泳の技術を向上させ、記録に挑戦する生徒の頑張りも目立ちました。上位大会出場や自己ベスト更新を目標に精一杯泳ぐ姿、覚えて間もないフォームで最後まで必死に泳ぎ切る姿が多く見られました。どの選手も、泳いだ後のすがすがしい表情が印象的でした。そして、普段の部活動から共に高め合ってきた仲間を心から応援する生徒が多く、温かい雰囲気の大会となりました。総合では、部活全體が一丸となって泳ぎ切った掛川西中が優勝しました。

このように、大会が無事に運営できたのは、各校の役員の先生方が協力してくださったおかげだと思います。心から感謝いたします。ありがとうございました。

## 優勝作文（総合）

掛川市立西中学校 福士 敬也

私たち西中水泳部は、男子優勝と女子優勝と総合優勝というすばらしい結果を残すことができました。

「四冠達成」に向けて、部員一人一人が最後まであきらめずに練習に取り組んだ成果だと思います。

私たちは、「己に克て」というスローガンのもと、みんなで話し合って決めた部訓である「切り替え」「集中」「全員が返事」「一つ一つの練習を大切に」を意識して日々練習に取り組んできました。

己に克つ。水泳では、練習において自分自身との日々の戦いに手を抜くことなく取り組んだ先に、自己ベスト更新の瞬間があります。そういう練習を積み重ねてくることができたと思っています。

毎日の練習の他にも、私たちは応援にも力を入れてきました。大会でこれほど大きな成果を残すことができたのも、チームのための応援があったからこそと感じています。

全員が声を出すのはもちろん、部の中で応援を考えて言葉を確認したり、苦しい練習の場面でも実際に応援の声を出したりして、大会本番でも全力で最後まで応援をすることができました。

この応援のおかげでチームの団結力が高まり、練習や大会でも互いに励まし合うことにつながりました。3年生が引退しても、西中水泳部の伝統として引き継いでいってほしいです。

こうして私たちが練習に集中して取り組むことができたのは、支えてくださった先生方や保護者の皆さんのおかげです。

特に前任の顧問の先生方には、冬場の練習で心身共に鍛えていただき、4月からも応援をしていただきました。3年間に出会った多くの先生方のアドバイスは、私たちにとって大きな力となりました。

また家族には、食事や体調、気持ちの面などでしっかりとバックアップしていただきました。ありがとうございますの一言では感謝しきれないと思っています。

このように、多くの皆さんから注いでいただいた愛情は、必ず私たちのこれから的人生に役立っていくと思います。本当にありがとうございました。

後輩の皆さん、これから一人一人、そして部員全員が一丸となって練習に励み、ぜひ私たちを越え、“五冠”を達成してください。

平成29年度 小笠地区中学校総合体育大会 水泳競技の部

男子	1位	2位	3位	4位					
自由形	鈴木 優斗	中3	伊丹 カワイ	中3	松浦 蓮	中3	安間 楓	中3	
50m	浜岡		掛川東		掛川北		掛川東		
	27.87		28.80		30.06		30.44		
自由形	岡本 息吹	中3	松浦 遼	中3	福士 敬也	中3	栗平 将吾	中2	
100m	掛川西		掛川北		掛川西		掛川西		
	01:04.91		01:07.16		01:09.17		01:11.03		
自由形	大石 広夢	中2	谷川 歩夢	中3	高内 祐伍	中3	吉村 航平	中2	
200m	大浜		掛川北		菊川西		御前崎		
	02:11.75		02:16.89		02:23.48		02:34.03		
自由形	大石 広夢	中2	谷川 歩夢	中3	高内 祐伍	中3	吉村 航平	中2	
400m	大浜		掛川北		菊川西		御前崎		
	04:38.72		04:43.01		05:08.41		05:27.46		
自由形	近藤 幹大	中2	岡本 鷹哉	中1	清水 省吾	中1	岡本 車	中1	
1500m	岳洋		掛川西		掛川西		掛川西		
	18:47.31		26:36.37		28:33.30		29:31.0		
背泳ぎ	濱口 裕太	中3	伊丹 カワイ	中3	松村 利久軌	中2	福士 敬也	中3	
100m	掛川西		掛川東		掛川東		掛川西		
	01:11.31		01:14.88		01:15.90		01:18.89		
背泳ぎ	濱口 裕太	中3	松村 利久軌	中2	大石 充希	中1	早川 怜寿	中3	
200m	掛川西		掛川東		掛川東		掛川西		
	02:32.56		02:40.80		02:51.98		03:11.29		
平泳ぎ	尾崎 大輔	中2	林 雅周	中3	中山 恒誠	中3	柳川 伊織	中3	
100m	掛川東		掛川西		掛川西		掛川東		
	01:14.48		01:17.01		01:26.70		01:29.03		
平泳ぎ	尾崎 大輔	中2	林 雅周	中3	中山 恒誠	中3	秋山 泰良	中1	
200m	掛川東		掛川西		掛川西		掛川東		
	02:44.26		02:53.22		03:05.98		03:06.42		
バタフライ	岡本 息吹	中3	福岡 謙大	中2	安間 楓	中3	中村 幹太	中3	
100m	掛川西		掛川西		掛川東		掛川西		
	01:14.83		01:24.03		01:28.86		01:38.55		
バタフライ	宮野 大和	中2	金田 浩生	中1					
200m	掛川西		掛川西						
	03:22.41		03:45.68						
個人メドレー	鈴木 琉太	中3	鈴木 優斗	中3	田中 風馬	中1	栗平 将吾	中2	
200m	桜が丘		浜岡		菊川西		掛川西		
	02:35.03		02:35.33		02:40.94		02:52.14		
個人メドレー	鈴木 琉太	中3	近藤 幹大	中2					
400m	桜が丘		岳洋						
	05:24.56		05:32.73						
FR	掛川西		掛川東						
400m	04:25.32		04:34.83						
MR	掛川西		掛川東						
400m	04:47.67		05:10.90						

学校	男子合計	男子順位	女子合計	女子順位					
掛川東	48	2	42	2					
掛川西	91	1	86	1					
大浜	12	4	0	7					
桜が丘	12	4	0	7					
掛川北	15	3	15	4					
城東	0	11	10	5					
岳洋	10	7	17	3					
浜岡	12	4	0	7					
菊川西	10	7	3	6					
菊川東	1	10	0	7					
御前崎	4	9	0	7					

総合計	総合順位	
90	2	
177	1	
12	6	
12	6	
30	3	
10	9	
27	4	
12	6	
13	5	
1	11	
4	10	

## 新人総合体育大会

大会結果	【男 子】	優 勝	掛川西	準優勝	掛川東
	【女 子】	優 勝	掛川西	準優勝	掛川東

### 大会寸評

掛川市立西中学校 伊藤 卓哉

気持ちの良い快晴の下、新人戦水泳競技の部が行われました。新人選手たちの頑張りと、役員の先生方の御協力のおかげで、無事に大会を終えることができました。ありがとうございました。

3年生引退後、限られた練習期間で努力してきたことが伝わる、力強い泳ぎがたくさん見られました。その中で、掛川東中2年生の寺下凜さんは、女子50m自由形において夏の大会でも小笠新記録28秒95を打ち立てましたが、本大会でさらに自己記録を0.16秒縮める28秒79という新記録を打ち立てました。その他、自己ベストを更新したり初めての表彰台に立ったりして、誇らしそうな表情を見せる選手が数多くいました。

来年の中体連に向かって、今後の部活動を通して心身ともにさらに大きく成長してくれる事を願ってやみません。

### 優勝作文（男子）

掛川市立西中学校 栗平 将吾

この新人戦は、頼りにしてきた3年生が引退し、1・2年生だけ臨んだ大会でした。僕は部長として、部員を引っ張るよう行動できるか不安でした。

大会当日は、部員全員が一生懸命泳げていたと思います。個人種目で上位入賞できた人も、自己ベストタイムを更新できた人も、思うようにいかなかつた人も、とにかく全力で泳いでいたと思います。結果として、部の目標である新人戦四冠を達成することができました。しかし、部全体で直していくべき課題も見つかりました。それは、一人ひとりが自分の役割を果たせていなかつたことです。ずっと同じ人が仕事をやってたり、応援も同じ人が大きな声を出していたりしました。やはり、チームとして、人任せにせず自分がやるべき事を確実に行い、プラス気配りをして仕事におちがないようにしていくことが必要です。そのためには、普段の学校生活から、場を考えて行動したり、進んであいさつをしたりすることで改善できると考えました。新人戦後のミーティングで話し合ったことを実践し、来年夏の中体連で素晴らしい結果を残せるようにしたいです。

### 優勝作文（女子）

掛川市立西中学校 花村 華音

3年生が引退して私たち2年生が部活の中心となりました。私は副部長になったので、部長を支え、部員を引っ張っていけるようになりたいと思いました。

新人戦当日、私は選手宣誓を務めさせていただきました。一言一言をかみしめながら、ハキハキと言うことができました。先輩方も応援に来てくださって、頑張ろうという気持ちが高まりました。昨年度の新人戦後のミーティングで、個人としては自己ベストを出せてよかつたという意見が多かったです。しかし、「水泳部」というチームで活動しているので、「仲間の応援が全力でできた」「泳ぎ終わった仲間に声をかけられた」などの仲間を思いやることができたという意見がなかつたのが残念でした。だから私は、新人戦での応援を全力でできるようにしたいと考えていましたが、自分の事で一杯いっぱいになってしまって呼びかけや励ますことができませんでした。今後は自分自身のメンタルを強くして、周囲を気遣えるようになりたいと思いました。

新人戦の結果は、一人ひとりが今までの練習の成果を出し切って最後まで戦い抜き、男女共に優勝できました。トロフィーを受け取る瞬間、ものすごくうれしかったです。

夏の中体連までに、個人だけでなく、チームとして力を高め、悔いの残らない最高の大会にできるよう、この冬の部活動に取り組みたいです。

平成29年度 小笠地区中学校新人総合体育大会 水泳競技の部

男子	1位	2位	3位	4位
自由形	東屋 和真	中2	斎藤 一汎	中2
50m	掛川西		浜岡	菊川東
	30.18		32.57	34.08
				34.14
自由形	栗平 将吾	中2	横山 美夢斗	中1
100m	掛川西		菊川東	掛川東
	01:09.16		01:14.03	01:17.16
				01:20.63
自由形	大石 広夢	中2	吉村 航平	中2
200m	大浜		御前崎	掛川西
	02:12.07		02:28.68	02:46.22
				03:15.07
自由形	大石 広夢	中2	吉村 航平	中2
400m	大浜		御前崎	掛川西
	04:40.42		05:10.79	05:50.46
				05:51.34
自由形	近藤 幹大	中2		
800m	岳洋			
	09:56.67			
背泳ぎ	松村 利久軌	中2	大石 充希	中1
100m	掛川東		掛川東	掛川西
	01:14.93		01:19.13	01:22.09
				01:36.60
背泳ぎ	松村 利久軌	中2	大石 充希	中1
200m	掛川東		掛川東	掛川西
	02:39.62		02:47.81	03:16.84
				03:18.13
平泳ぎ	尾崎 大輔	中2	東屋 和真	中2
100m	掛川東		掛川西	掛川東
	01:15.20		01:21.33	01:26.22
				01:27.74
平泳ぎ	尾崎 大輔	中2	秋山 泰良	中1
200m	掛川東		掛川東	掛川西
	02:43.05		03:01.15	03:12.97
				03:14.63
バタフライ	福岡 謙大	中2	宮野 大和	中2
100m	掛川西		掛川西	掛川東
	01:21.15		01:28.68	01:29.45
				01:33.92
バタフライ	福岡 謙大	中2	渥美 栄威	中2
200m	掛川西		掛川東	掛川西
	03:07.68		03:35.33	03:40.73
				04:25.09
個人メドレー	栗平 将吾	中2	斎藤 一汎	中2
200m	掛川西		浜岡	掛川西
	02:48.46		02:53.46	03:07.87
				03:23.57
個人メドレー	近藤 幹大	中2		
400m	岳洋			
	05:29.43			
FR	掛川東		掛川西	
400m	04:29.73		04:39.44	
MR	掛川東		掛川西	
400m	04:56.94		05:13.89	

女子	1位	2位	3位	4位
自由形	寺下 凜	中2	三宅 莉愛	中2
50m	掛川東		掛川西	菊川西
	28.79		32.53	33.09
	(小笠新)			48.72
自由形	寺下 凜	中2	谷川 彩楓	中2
100m	掛川東		掛川北	掛川西
	01:03.50		01:11.45	01:16.53
				02:00.97
自由形	田代 紗穂	中2	谷川 彩楓	中2
200m	城東		掛川北	掛川西
	02:23.33		02:27.88	02:46.96
				03:11.55
自由形	田代 紗穂	中2		
400m	城東			
	04:58.28			
自由形	(エントリーなし)			
800m				
背泳ぎ	三宅 莉愛	中2	鈴木 希咲来	中1
100m	掛川西		掛川東	
	01:25.97		02:08.34	
背泳ぎ	(エントリーなし)			
200m				
平泳ぎ	花村 華音	中2	鈴木 麻央	中1
100m	掛川西		掛川西	掛川西
	01:34.86		01:56.28	01:56.34
平泳ぎ	中野 啓夢	中1	佐藤 りん	中1
200m	掛川西		掛川西	掛川東
	04:01.38		04:03.76	04:21.47
バタフライ	松浦 あかり	中1	泉 愛莉	中2
100m	掛川西		掛川東	
	01:15.31		01:46.73	
バタフライ	松浦 あかり	中1		
200m	掛川西			
	02:48.74			
個人メドレー	河村 紗音	中2	花村 華音	中2
200m	菊川西		掛川西	掛川西
	02:57.99		02:58.34	03:50.17
個人メドレー	(エントリーなし)			
400m				
FR	掛川西		掛川東	
400m	04:58.82		06:28.25	
MR	掛川西		掛川東	
400m	05:27.72		07:16.36	

学校	男子合計	男子順位	女子合計	女子順位
掛川東	70	2	36	2
掛川西	87	1	72	1
大浜	12	3	0	6
桜が丘	0	9	0	6
掛川北	0	9	8	5
城東	1	8	12	3
岳洋	12	3	0	6
浜岡	9	5	0	6
菊川西	0	9	9	4
菊川東	7	7	0	6
御前崎	8	6	0	6

総合	総合順位
106	2
159	1
12	4
0	11
8	8
13	3
12	4
9	6
9	6
7	10
8	8

昭和40年より連合を連盟と改名した。

# 小笠中学校総合体育大会 年度別優勝校一覧表

西暦	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	
年度	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年	46年	47年	48年	49年	50年	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年	62年	63年	64年
バレーボール	男女																																		
卓球	男女																																		
柔道	混合																																		
陸上	男子																																		
駅伝	男女																																		
バスケットボール	男女																																		
サッカー	ソフト																																		
野球	男女																																		
ソフトボール	男女																																		
剣道	男女																																		
水泳	男女																																		
体操	男女																																		

西暦	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
年度	65年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年								
バレーボール	男女	横川東	横川東																																	
卓球	男女	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜	浜
柔道	混合																																			
陸上	男子	横川東																																		
駅伝	男女																																			
バスケットボール	男女																																			
サッカー	ソフト																																			
野球	男女																																			
ソフトボール	男女																																			
剣道	男女																																			
水泳	男女																																			
体操	男女																																			

(注) 三笠(現横川北) 菊川(現菊川西) 横浜(現大浜) が、( ) 内の校名に変更され現在にいたる。



感動をありがとう